

平成14年度
フィリピン国草の根技術協力事業
(草の根協力支援型)
「農業技術支援事業」事前確認調査団 報告書

平成15年9月



国際協力事業団
東京国際センター

東国セ
JR
03-919

平成14年度
フィリピン国草の根技術協力事業
(草の根協力支援型)
「農業技術支援事業」事前確認調査団 報告書

平成15年9月

国際協力事業団
東京国際センター



1175090【8】

序 文

国際協力事業団は市民の発意による国際協力事業を支援し、幅広い層の市民に事業へ参加してもらうことを基本概念とした草の根技術協力事業を実施しています。本事業は開発途上地域の生活向上を促すことを目的に、日本の NGO、大学、地方自治体、公益法人等の団体と JICA が共同事業として実施するものです。そのため、事業実施においては案件ごとの成果とともに、市民参加による事業の実施プロセスを重視しています。

草の根技術協力事業には地域提案型、草の根協力支援型、草の根パートナー型の3つ形態があります。その中でも草の根協力支援型は、国際協力の実績が少なく比較的小規模な NGO に対する国際協力活動への支援を目的としています。

今回の調査は当センターに事業提案された草の根協力支援型案件について、事前の背景調査を行い、案件実施の判断や事業評価にその結果を活かすことを目的に実施しました。調査は平成15年3月11日から3月15日の期間に支援対象となるフィリピンラグナ州カラワン町に調査団を派遣し、現地視察、日本大使館及び JICA 在外事務所との意見交換や関係機関の意向聴取を行い、案件実施に必要な情報を収集し、当該案件について事業実施の妥当性を探りました。本報告書はその調査結果を取りまとめたものです。

本調査結果が今後のフィリピンにおける草の根技術協力事業の発展と実施につながることを期待いたします。

最後に、本調査に多大なるご支援、ご協力を頂戴いたしました内外の関係各位に対しまして、心より感謝申し上げます。

平成15年9月

国際協力事業団 東京国際センター
所長 小樋山 覚



写真1
ラグナ州カラワン町の試験圃

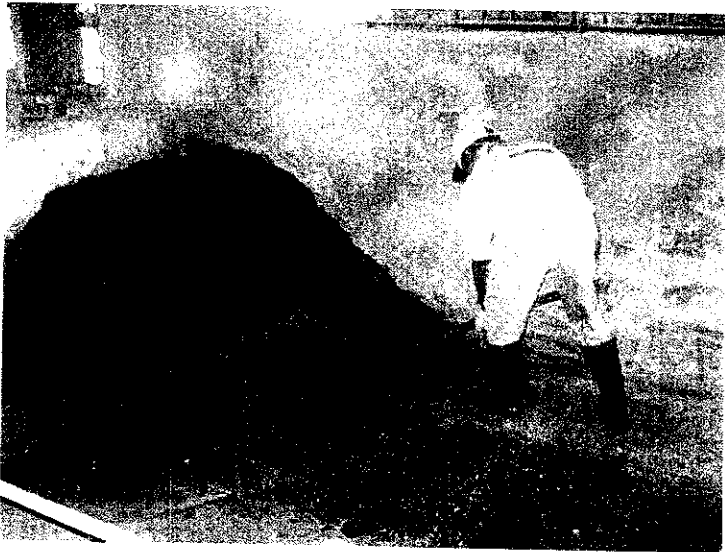


写真2
製造中の堆肥

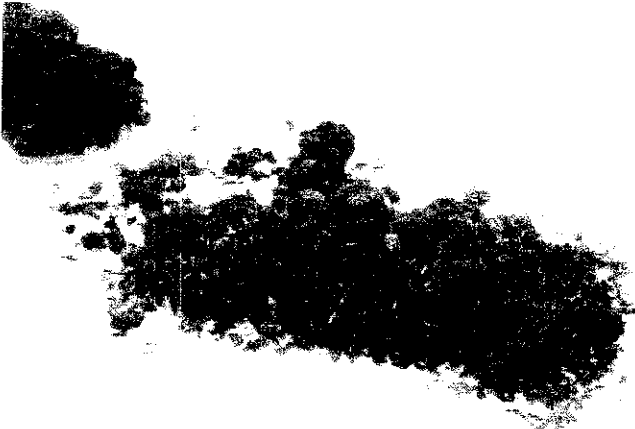


写真3
籾殻から作った堆肥(完成品)



写真4
州農業試験場内にある牛舎跡
(今後の有機肥料製造候補地)



写真5
マラボン地区ダイケアセンター(内部)



写真6
JICA-Netフィリピンサテライトセンター

フィリピン国草の根技術協力事業
(草の根強力支援型)
「農業技術支援事業」事前確認調査団 報告書

序文
写真

1. 調査の背景及び目的	1
1-1 背景	1
1-2 調査団派遣の目的	1
2. 調査内容	1
2-1 農業技術支援事業について	1
2-2 フィリピンにおけるその他事業の視察	2
3. 調査結果(農業技術支援事業)	2
3-1 事業実施の背景と必要性	2
3-2 事業の実施方針及びアプローチの妥当性	3
3-3 目標設定の妥当性、受益者の選択の妥当性、有効性	3
3-4 成果、活動、指標の設定の妥当性	3
3-5 投入の妥当性、有効性	4
3-6 自立発展性の見込み	4
3-7 関連収集情報	5
4. 結論(農業技術支援事業)	7
5. その他の調査結果	8
5-1 市民参加型協力支援事業「マラボン地区コミュニティー」	8
5-2 JIKA-Netフィリピンサテライト視察	8

添付資料

・ 調査団構成、調査日程	13
・ 面会者リスト	14
・ 議事録	15
・ 収集資料	33

1. 調査の背景及び目的

1-1 背景

フィリピンのマニラ郊外ラグナ州では、長年にわたる化学肥料の大量な使用による耕作地の衰弱が問題となっている。また、病虫害駆除に使用されている有害化合物は人体に悪影響を及ぼしている。一方、家畜の糞尿は垂れ流し状態にあり、蚊やハエの大量発生により伝染病を引き起こし、住民の生活環境を悪化させている。

上記の問題解決策として、これまで焼き捨てられてきた稲ワラや籾殻、及び家畜の糞尿を利用し、新たに有機肥料を製造する「農業技術支援事業」がNPO法人フィル・ジャパン・フレンドシップ(以下PJF)より提案された。本事業は化学肥料からの脱却、並びに安全な食料の自給と生活改善を目的としている。

TICに於いては、本件を草の根技術協力(草の根協力支援型)として実施する可能性を念頭に置いて、提案団体との間でコンサルテーションを進めている。

本事業は、実施期間を2003年5月頃より1年間と予定し、ラグナ州カラワン町を対象地域としている。現地調査及び技術指導を目的に、新潟県笹神村農業技術者の短期派遣を行い、技術移転を図ることでラグナ州カラワン町及びその住民に対する裨益を見込んでいる。事業実施スケジュールでは、3泊4日の短期派遣を1年間に計4回を予定しており、事業見積額約1千万円の内、資機材費、渡航費が大きな比重を占めている。(平成15年2月14日付事業提案書を参照)

1-2 調査団派遣の目的

- 1) 事業提案書記載事項及び国内での提案団体からのヒアリングのみでは十分に確認できない本事業の計画内容について、事業対象地域に於ける関係者との協議及び現場の視察等を通じて、必要な情報を収集するとともに、在外事務所及び在外公館関係者との協議を通じて、本計画の包括的な背景を理解する。

なお、草の根技術協力事業の案件採択手続フローの中では、本件はステップ2の段階であり、ステップ3における在外コメント取り付けを円滑に進めるための事前調整を同時に行なうこととする。

- 2) フィリピンに於いて実施中の、他の市民参加型協力事業の進捗状況等の視察を行なう。

2. 調査内容

調査団出発前に、調査項目としては以下の事項を予定した。

2-1 農業技術支援事業について

- 1) 事業実施の背景と必要性
 - ・ 土壌改良の必要性
 - ・ 現状の農民の生活環境

- ・ 農民における有機肥料使用ニーズ
- 2) 事業の実施方針
- ・ 農民への有機肥料普及方法、及び本事業への農民参加の可能性
 - ・ 州、町の支援体制
 - ・ 当団体による既存類似事業の成果
- 3) 目標・受益者設定の妥当性
- ・ 事業継続のための主体者、及び人材育成体制
 - ・ 受益者設定の妥当性
 - ・ 農業組織育成等を視野に入れた事業展開の可能性
 - ・ 実施期間の妥当性
- 4) 投入計画の妥当性

なお、草の根技術協力事業に係る2国間の包括合意の動向についても、在外事務所から聴取する。

2-2 フィリピンにおけるその他事業の視察/調査

- 1) 市民参加協力支援事業「フィリピンマニラ市マラボン地区コミュニティ開発」(世界の子供と手をつなぐ会)
老朽化が進むマラボン地区デイケアセンターを対象に市民参加協力支援事業として補修改築工事が実施されており、その現場を視察する。
- 2) JOCV 隊員(農業分野)との面談
農業分野に従事する隊員との面談により、フィリピンにおける耕作地問題、生活環境等の現状を把握する。
- 3) フィリピン大学JICA-Netサテライト視察

3. 調査結果 (農業技術支援事業)

現地で協議及び調査した結果を、案件評価の項目(案件内容コメント表のプロジェクト概要の項)に沿って整理すると以下の通りとなる。

3-1 事業実施の背景と必要性

ラグナ州はマニラ首都圏の郊外にあり州西部では自動車産業等が進出して工業化が進んでいるが、地理的に州のほぼ中央部にあるカラワン町は人口約44千人の8割が農家であるとともに、土地利用においても8割が農地である。2001年7月から現職にある町長は環境配慮を重視した政策を実施しており、その一環として有機農業の推進には積極的に取り組む方針である。

カラワン中心部の北西に州唯一の州営農産物市場が建設される予定であり、これが完成すると

農産物の出荷に関してカラワン町は有利な立地条件となる。

本提案事業は、籾殻と家畜糞尿を材料として製造した堆肥を主として水田で使用し、稲作における有機栽培の有効性を農民に啓蒙して普及することを主目的としているが、籾殻が精米所に集積していて入手可能、中規模な養鶏場と牛舎があつて家畜糞尿が入手可能、豊富な農業用水による水田が随所にあることなど、事業実施に必要な前提条件が揃っている。

化学肥料の多用による地力の低下と環境への影響を勘案すると、有機農業の普及はフィリピン農村における有意義な活動である。

3-2 事業の実施方針及びアプローチの妥当性

新潟県笹神村の「有機センター」では堆肥を使った米や野菜の栽培に成果をあげているが、提案団体であるPJFが村内の農業技術者を説得してフィリピンの農家に対する技術指導実施の同意を取付けた結果、既に小規模ながらカラワン町において堆肥製造と試験施肥を実施している。こうした市民発意による途上国農村の環境改善を目的とした本計画は、草の根技術協力の趣旨に合致している。

本計画は、カラワン町長が積極的に推進する方針であるとともに、ラグナ州知事も支援する意向を示していることから、その成果発現は広く州内の農民に認知されるのみでなく住民全体への認識が期待される。

3-3 目標設定の妥当性、受益者の選択の妥当性、有効性

籾殻と家畜糞尿という現地で入手可能な材料を使い、主用作物である稲作を主な対象として有機栽培の普及を図るといふ目標は現実的であり妥当である。

また町人口の8割を占める農民を受益者としたことも妥当である。

本計画の実施に際し、カラワン町の農業課が現地での継続的事業推進の支援を行う立場となる。

3-4 成果、活動、指標の設定の妥当性

有機栽培の成果は、直ちに収量の増等に表すことができず、数年間続けた結果、化学肥料では生じる地力の低下が発生しない等の形で現れるため、数値目標の設定は容易でない。新潟県とは自然条件の異なるカラワン町で、新潟の経験がどこまで適用できるかは時間をかけて実証する必要がある。また、有機農法がカラワン町の農民に受入れられるか否かは、農民にとって収入の増加や経費の節減、労働力の節減など、具体的なインセンティブがどの程度保証されるかに左右されることは必至である。

これまでに現地で試験的に行ってきた技術指導の規模は、300kg程度の堆肥を十数回にわたって製造し、6ヶ所合計44a程度の圃場に施肥して稲の栽培(比較)を行ったものであるが、本計画ではその10倍以上の規模で機械を使って堆肥を製造し、より多くの圃場を使って有機栽培の実績を広く農民に紹介しようというものである。しかしながら有機栽培の実証を行った結果、農民が従来

からの経営から有機農業に切り替えるか否かは、現時点では予測することができない。

3-5 投入の妥当性、効率性

- (1) 施設: カラワン町内にあるラグナ州農業局管轄試験場の一角(2ha)を、本事業実施のためにカラワン町が無償で使用する許可を得ており、堆肥の大量生産を行うスペースは確保されている。但しここは長く使用されなかった牛舎の跡であり、本計画に使用するためには、(ア)建物周囲の壁の設置、(イ)水供給のためのポンプ修理、(ウ)作業員等の詰所の設置が必要となり、これを比側負担とするか JICA 支援の中に組み込むかは、検討を要する。
- (2) パイロット圃場: 町内の農家から希望者を募って選定する予定であるが、既に実験的に行った有機栽培試験の結果を農家が知り、多数の希望者が名乗りをあげている由。
- (3) 現地での人材: フィリピン側(現地)で従事する人材としてはカラワン町農業課に技術者がいるため、フィリピン側による継続的事業展開が期待できる。但し、彼らは有機農法のノウハウを持っていない。邦人としては在マニラの日比親善同友会の会員がマニラに在住し適宜カラワンの現地をモニタリングできる距離にはあるが、同会員には農業に関する知見は期待できない。
- (4) 技術指導の人材: 笹神村の農業技術者によるカラワン町での技術指導が重要な要素となるが、現在の事業提案書によれば、1年間に4回、3泊4日の短期間の訪問しか予定されていない。現地の農民とのコミュニケーションには通訳を介することを勘案すれば、必ずしも十分とは言えない。
- (5) 調達機材: 面積的には堆肥を増産する施設が確保されたため、機械による攪拌やトラックによる材料・製品運搬も可能であるが、維持管理を含め堆肥製造コストの一部として吟味する必要がある。
- (6) 堆肥製造の材料: 精米所からの籾殻、養鶏場・牛舎からの家畜糞尿の調達は可能であるが、堆肥製造コストの中での材料調達費用を吟味する必要がある。

3-6 自立発展性の見込み

農家が有機栽培の有効性を認識するためには、化学肥料に比した優位さを認識する必要があるが、堆肥の製造規模によりコスト比較の条件が変わってくる。草の根技術協力による支援期間中はコスト的にも十分競争可能であろうが、それ以後は堆肥量産体制の確立によるコスト減、農民の意識向上と維持、農産物の付加価値向上など多面的に有機農業の意義が認識される必要がある。

比国においては、農業の生産性と言う場合に単位面積当たりの生産だけでなく、単位労働力当たりの生産という意識も強いことを念頭におく必要がある。また、有機農業により農産物に付加価値が発生したとしても、それを活かした流通・販売システムが現状では機能しないことも勘案する必要がある。

3-7 関連収集情報

(1) PJFと日比親善同友会について

PJFと日比親善同友会はフィリピン在住邦人により形成されたマニラ会を旧母体としている。PJF片桐和喜理事長と日比親善同友会大澤一郎会長は1999年頃から親交があり、両組織は相互協力関係を築いている。

・PJF(収集資料6参照)

マニラ会新潟県支部としてこれまで活動を続けてきたが、2002年12月マニラ会を脱退し、新たにNPO法人取得を目指し組織化された。日本とフィリピンの友好親善を目的としており、フィリピン全土を活動対象としている。2003年3月現在、会員総数は27名である。

近年では学生招聘事業(バギオ市:平成11年4月ー平成13年5月)、消防車・救急車の寄贈事業(ラグナ州カラワン町、ネバシハ州ボガボン町:平成11年5月ー平成13年)、農業技術支援事業(イサベラ州、ラグナ州カラワン町:平成13年1月以降)、消防車・救急車の寄贈事業(ラグナ州サンタ・ロータ市他:平成14年1月以降)等を展開している。

PJFとラグナ州カラワン町は、消防車・救急車の寄贈事業にて既に交流があり友好関係を築いている。また、PJF事務局が所在する新潟県北蒲原郡笹神村は、過去に学生招聘事業を通じてフィリピンバギオ市と交流があり、今回は笹神町の農民によってフィリピン農業技術支援委員会を組織化し、ラグナ州カラワン町への技術指導を担う計画である。

・日比親善同友会(収集資料7参照)

2003年1月にマニラ会から分離・独立し、新たに組織化された。設立目的は「真のボランティア精神を維持し、フィリピン国民との友好を深め、ともに相互理解とその支援活動に積極的に参加する。会員間真摯で友好的な関係を推進し、互いに共通する問題の解決と福祉の増進を図る。」ことである。また、会員には比国の元国家警察副長をはじめ、政界、財界の著名人が多数在籍している。

活動内容は、主に人命救助(消防車・救急車・医療機器)、教育(教材・語学・子供教室)、農業技術指導、環境改善、福祉事業等のプロジェクトを展開している。

(2) カラワン町概要(収集資料1、2、4、5参照)

・基礎情報

人口:43,284人(2000年度現在)

面積:7,458ha(農業用地:5,900ha 居住地:451ha 森林:360ha 特別区:746ha)

収入:30,544,061ペソ(2000年度現在)

気候:熱帯雨林気候

・立地条件

ラグナ州のほぼ中心に位置し、マニラから約75キロ、車で約1時間30分の場所にある。17のバラングイ(行政単位)を持ち、ラグナ湖の南岸に接している。町内には35ヶ所の水源があり、200年以上前から自然灌漑による農業が行われている。南西部には自然林地帯があり、Agro-tourism Area 開発への構想が計画されている。また、町内には地熱発電所(400MW)の

他、ドイツ系科学肥料会社(Bayer)の研究所があり、化学肥料や農薬等の市場開拓を調査している。

町内の主な企業立地はサンミゲル(食品加工)とスパイス加工工場で、他に工業地区が2箇所あるが、現段階では企業進出の計画はない。近々ラグナ州唯一の州営農産物市場が開場予定であり、州内の農産物の物流の拠点として期待されている。

・農業

町民の約8割が農家であり、1戸あたり1～2haの経営規模である。米、フルーツ(パイナップル、ココナツ)が中心的な作物で、稲作は主に中北部の平地で栽培されている。ここでは、作付面積約1500haで2毛作が行われている。

また、町役場近辺にある6カ所の試験圃では、すでに有機栽培による稲作が行われている。

・行政

現町長は2期目であり、2001年7月の選挙で再選を果たした。農業分野の知識が豊富であり、環境配慮に対しても積極的である。農業関係予算は約200万ペソで、町全収入の約5%であるが、当面は有機栽培に対して労働力や堆肥製造スペース等の提供、農民への普及活動等の支援を表明している。

(3) 比国におけるNGO関連の協力(収集資料9参照)

JICAフィリピン事務所及び日本大使館との打合せにより、以下の比国におけるNGO関連の協力に係る情報を得た。

・草の根無償資金協力案件

比国では、2001年に固形廃棄物処理法が施行され廃棄物の投棄が制限された影響で、複数の団体や自治体でゴミのリサイクル利用が検討されている。

「カビテ州シラン町環境配慮型廃棄物処理支援計画」(2000年～2001年)では、シラン町と地元NGOのIDEAS(Institute for the Development of Educational and Ecological)が協力し、町民ボランティアを巻き込んだ形でゴミ分別回収とリサイクルに取り組んだ。このプロジェクトでは、ゴミを処理場に流し込むホッパーや各種コンベヤー、ゴミ破砕機、発酵機といった機器類の調達、および地域住民に対して生分解可能ゴミ回収に関するトレーニング教材を作成し、啓蒙普及活動に注力した。

・比国におけるNGOの活動

「熱帯農林技術開発協会」はラグナ州付近で土壌改良を試み、有機肥料栽培を行っている。他に「財団法人国際環境技術移転研究センター(ICETT)」や「OISCA」「アジア学院」など定評のある団体が事業を行っている。

また、FSSI(Foundation for Sustainable Society, Inc.)のように、NGOに対して経営面への支援や持続可能な開発に向けた環境分野のコンサルティングを行う団体も存在する。

・二国間取り決め

草の根無償資金協力と同様に、草の根技術協力に関する包括合意を口上書の交換によって整理し、個々の案件については必要に応じて実施団体間が文書により確認することとする予定

である。また、比国では他の事業との混同を避けるため、草の根技協の英文名称を「Technical Cooperation for Grassroots Projects」とする。

(4) 試験圃の実験結果

・現場視察

視察では①肥料未使用の田圃、②化学肥料を使用した試験圃、③有機肥料を使用した試験圃を比較した。当然ながら①に比べると②③の発育状況は明らかに良い。①の稲は、背が低く、やや細く、色もやや褪せており、稲穂の実も少ない。次に、肥料を使用している②③の稲を観察すると、青々と茂っており、背も高く、①との差は歴然である。なお、②と③を比較すると、見た目には大きな違いはないが、③は若干茎が太く、色が濃い等の差異が認められた。

また、周辺では肥料を使用していない田圃も多く、②③の試験圃の発育の良さは周りから多少目立った存在となっている。ただし、どの田圃も収穫量増加を期待してか、大量の苗を植え込んだため、稲が密集しすぎて雑草の駆除も立ちゆかない状況であった。

・実験データ(収集資料3参照)

カラワン町職員がまとめた試験圃の実験結果では、堆肥収穫量、製造過程の堆肥温度変化、試験協力農家情報、使用有機肥料量、化学肥料と有機肥料の発育比較等のデータが提示された。

比国では熱帯雨林気候の影響により、約4週間で有機肥料が完成する。製造過程の堆肥温度変化データからは、2週目に堆肥温度が約65℃～70℃とピークとなり、その後常温に戻る様子が窺える。

通常、有機肥料の使用は10トン/1haの使用が理想とされている。しかし、6農家の試験圃では5トン/1haを使用目標としたが、まだ使用量が不足している試験圃があり、そのために正確なデータの比較は行えない。ただし、現在収集されている有機肥料使用量、及び化学肥料と有機肥料の発育比較データからは、稲の背の高さ、稲穂の数、葉の数等について、有機肥料の有用性が数値として現れ始めている。

4. 結論（農業技術支援事業）

本件の今後の対応方針として以下の点を提言する。

- (1) 現時点で予測し得る最も論理的な有機肥料のコストと化学肥料のコスト比較、及び農家の経営における費用負担の可能性が、提案書の中で記述される必要がある。

本事業提案の農村の環境改善という方向は妥当であるが、これが具体的に農民に受け入れられるところまでを成果として期待するのであれば、不確定要素が多く慎重とならざるを得ない。有機農業の推進を目的とする本計画が具体的な数値目標を設定し難く、成果を明確に数量化することが困難であることを容認するとしても、可能な限り具体的な目標を予測するよう事業提案者にアドバイスすることが妥当と考えられる。

- (2) 事業の成果発現に不確定要素が多い中で1年間で1千万円という予算規模は、「草の根支

援型」の3年間以内で1千万円以下という標準規模に比べて大きいと判断し、具体的な成果を確認しつつ支援を継続して行く形に計画を修正する。

- (3) 有機農業の経験のある技術者が、現地で指導を行なう時間をより多くする方策を検討する。
- (4) なお提案団体の資格については、必要書類の提出を受け別途検討する必要がある。

5. その他の調査結果

5-1 市民参加型協力支援事業「マラボン地区コミュニティー開発」

(1) 調査概要と結果

マラボン地区(スラム)にあるダイケアセンターは地区の幼児教育の場として利用されてきたが、築15年を迎える建物の老朽化が激しく、改修が必要とされていた。今回、ダイケアセンターから緊急支援要請のレターを受け取った「世界の子どもと手をつなぐ会(JOFIC)」は、センター改修工事を目的として、本件を市民参加型協力支援事業として申請した。本事業では改築費の他、渡航費等を含む約107万円の費用の内、約35万円をJICAから支援した。

マラボン地区(スラム)の多くはゴミに覆い尽くされているが、現場は比較的整備された立地条件にあり、改修工事により内装、外装ともに大きく改善された。現場を視察した際には工事は完了しており、現地のC/Pから支出明細と証憑書類がJICA事務所に提出された。ダイケアセンター一階部分で幼児保育が行われているが、月一回の医師往診の実施によりクリニックとしての機能も果たしている。

(2) 申請団体

JOFICは資金助成、緊急援助、市民教育等を事業形態として、フィリピン、インド、バングラデシュ、ネパール、ボリビア、ペルーを対象に活動を続けてきた。マラボン地区のスラム地域開発は1990年から開始しており、幼児教育、保健衛生、栄養、医療治療、女子教育、文化教育等のプログラムを実施している。

5-2 JICA-Net フィリピンサテライト視察

(1) 立地条件

マニラ中心部から車で40分程度のケソン市フィリピン大学にあり、大学構内の施設を利用している。最近では月間約300人の入場者があるが、マニラ中心部から離れていることもあり、連続して実施されるセミナーでは参加者の往来に多少難がある。ただし、マカティの事務所のセキュリティ対策の厳しさに比べると、誰もが自由にアクセスできる利点を持つ。

(2) 実施運営の現状

NTTからの再委託による3名の現地スタッフによって運営されており、参加者不特定の聴講型講義の場合は、広報・募集活動も現地スタッフが担当している。また、JICA-Net運営に専任となる企画調査員が3月上旬に派遣されている。

当日は国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)の保護監察セミナー(八王子センター所管)

配信があり TIC と回線が繋がっていたが、TIC 側の音声、映像はともに鮮明であった。配信番組の中では、双方向コミュニケーションを試みる講義が受講者に対して好評である。

本サテライトでは、受講者に対するカメラワークを工夫しており、静止画で映すのではなく、一人一人をアップで順に映して、配信先の講師に受講者の表情を伝えようと試みている。また、従来は卓上のパソコンディスプレイがフィリピン側参加者の顔を遮る問題点があったが、JICA-Net 接続時は全てのディスプレイが部屋の後方に移動されていた。

(3)課題と展望

配信実施一週間前程度に公電で通知が届くケースが多く、その場合は慌てて聴講者の募集活動を行うため、結果としてケソン市近辺の参加者が多くなる問題が挙げられた。

今後は、例えば集団型研修の選考に漏れた候補者と所属機関の人材を対象にした特別セミナー等のように、事前に計画が立てられれば、運営側、参加者ともに満足のいく番組を作ることができると考えられる。

また、今後の計画として、部屋の中央部のアコーディオンカーテンで仕切り、前半分で同期型の研修等、後半分に端末を置いてパソコン教室或いは WBT に使うこと等も検討されている。

以上

添付資料

・ 調査団構成、調査日程

・ 面会者リスト

・ 議事録

・ 収集資料

- (1) ラグナ州カラワン町概要 (MUNICIPAL PROFILE) 33
- (2) ラグナ州カラワン町政 (ウェブサイト用資料) (カラワン町より入手) 47
- (3) カラワン町における有機栽培試験圃場の記録 (カラワン町より入手) 77
- (4) ラグナ州地図 (カラワン町より入手) 87
- (5) ラグナ州観光資料 (ラグナ州より入手) 89
- (6) フィル・ジャパン・フレンドシップ会報 創刊号 (2003.3.1) (PJFより入手) ... 101
- (7) 日比親善同友会会報 創刊号 (2003.1.1)、2号 (2003.3.1) (同友会より入手) ... 105
- (8) 有機農業関連資料 (佐藤隊員より入手) 111

調査団構成

岡本 茂（団長） JICA東京国際センター業務第一課長
神月 匡規（技術協力） JICA東京国際センター業務第一課職員

調査日程

	日付	内容	宿泊
1	2003年3月11日	マニラ着 提案団体及び現地支援団体との打ち合わせ 協力隊員（稲作、野菜栽培）との面談	マニラ
2	2003年3月12日	事務所長との打ち合わせ 日本大使館との打ち合わせ JICA-Netサテライト視察 鉱工業プロジェクト視察	マニラ
3	2003年3月13日	ラグナ州カラワン町現場視察 州知事表敬 町長との打ち合わせ	マニラ
4	2003年3月14日	マラボン地区コミュニティ開発サイト視察 事務所長報告	マニラ
5	2003年3月15日	成田着	

面会者リスト

年月日	氏名	所属
2003年3月11日	小林 信治	日比親善同友会 副会長
	片桐 和喜	NPO フィル・ジャパン・フレンドシップ 理事長
	滝沢 征彦	JICAフィリピン事務所 職員
	高田 健二	JICAフィリピン事務所 職員
	佐藤 健	青年海外協力隊員(稲作)
	関原 由佳	青年海外協力隊員(野菜)
2003年3月12日	中垣 長睦	JICAフィリピン事務所長
	小西 洋子	在フィリピン日本大使館
	間淵 利明	在フィリピン日本大使館 二等書記官
	加瀬 晴子	JICAフィリピン事務所 職員
	宮坂 俊夫	JICAフィリピン事務所 企画調査員
	Mr. H. K. LEE	JICA-Netフィリピンサテライト Coordinator
	Mr. Benjie P. Garcia	JICA-Netフィリピンサテライト Systems Engineer
	Mr. Glenn M. Manuel	JICA-Netフィリピンサテライト Administrative Staff
	Mr. Reuben M. Jiemnez	JICA-Netフィリピンサテライト Operations Manager
	坂田 武穂	貿易工業省製品企画局BPS試験所 チーフアドバイザー
	桜井 邦夫	貿易工業省製品企画局BPS試験所 専門家
	北田 由美江	貿易工業省製品企画局BPS試験所 業務調整員
	Mr. Gerardo P. Panopjo	貿易工業省製品企画局BPS試験所 プロジェクトマネージャー
	2003年3月13日	Mr. Hon George T. BERRIS
Ms. Marnic B. ABOINSAY		ラグナ州カラワン町 Agricultural Technologist
Mr. Artemio M. APIDA		ラグナ州カラワン町 Municipal Agriculturist
Mr. Fernando D. COSTA		ラグナ州カラワン町 Agricultural Technologist
Ms. Teresita S. LAZARO		ラグナ州 Governor
Mr. Leoncio D. Rebong, JR., DVM		ラグナ州 Provincial Veterinarian
大澤 一郎		日比親善同友会 会長
小林 信治		日比親善同友会 副会長
片桐 和喜		NPO フィル・ジャパン・フレンドシップ 理事長
佐藤 健		青年海外協力隊員(稲作)
関原 由佳		青年海外協力隊員(野菜)
2003年3月14日		中垣 長睦
	高田 裕彦	JICAフィリピン事務所 次長
	滝沢 征彦	JICAフィリピン事務所 職員

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	日比親善同友会、PJFとの協議
日時	2003年3月11日(火)15:15～16:30
場所	フィリピン事務所
出席者	小林慎治(日比親善同友会副会長)、片桐和喜(PJF 理事長) 岡本、瀧澤征彦職員、神月
概要	
<p>1 草の根協力(支援型)事業への提案について</p> <p>岡本:本案件は現在コンサルテーション段階であり、事業提案者であるPJFとJICA/TICが共同で案件を形成中である。今後、採択決定までに外部有識者の意見を求めるステップもあるが、TICとしては、本件実施に向けて提案内容の調整について打合せたい。13日に予定されている現場視察の前に本計画内容についての補足説明をお願いしたい。</p> <p>片桐:現場視察を行い、改めてアドバイスをもらえればと思う。現状は、大量な化学肥料の使用による土壌の衰弱(土が細くなり、酸素が届かない)が生じ、また籾殻の焼き捨てが行われている問題があり、その改善のためにラグナ州カラワン町に有機栽培による試験圃を展開した。しかし、これまでのトライシクルとシャベルによる手作業では量的な限界があり、草の根技術協力事業として提案してステップアップを目指した。本計画実施により、籾殻と家畜糞尿を材料として作った堆肥を使用した有機栽培の有効性を農民が認識して化学肥料使からの脱却し、また籾殻焼却による二酸化炭素放出量の削減、及び家畜糞尿を回収することによる農村の生活環境改善が成果として考えられる。</p> <p>2 現状について</p> <p>片桐:温暖な比国では、3毛作が可能なほど農作物の生育が早い。ラグナ州は穀倉地帯であり、比国の中では土壌状態が比較的良い。また、精米所が多数あるため、堆肥の材料となる籾殻が大量に入手可能である。平成13年度から新潟県の農業技術者がラグナ州の現地調査・指導(これまでに3回実施)を行い、小規模の水田で有機栽培の試験を行った。これまでに550kgの材料から350kgの堆肥を作った。籾殻は当初無償で入手できたが大量に使うようになってから有料となった。</p> <p>比国では、有機栽培の有効性を口で語るよりも、実際に多くの農民に見せて納得してもらうことが一番の近道と考えており、試験圃を増やす必要がある。そのためには、有機肥料を大量に製造しなければならない。一般に農家は化学肥料を借りて作付し、収穫後に農産物で代金を支払うケースが多いが、収入につながる残量が非常に少ないのが実態である。</p> <p>3 農家への裨益</p> <p>岡本:提案書では、有機栽培を実践しその良さを農家へ認識させるところまでとなっており、農民への裨益がよく見えないが。</p> <p>片桐:TICの富田氏からも指摘を受け、3日前頃に提案書を再度提出した。有機栽培の良さについて、伝達・指導・講習方法を検討しており、この事業計画の1年の中で実施する。また、作物の生育のタイミングにあわせて、農業技術支援委員会からミッションを送る。</p> <p>岡本:提案されている1年間が終わった時点での成果は何か。</p> <p>片桐:有機栽培に対する農民の認識を高めることである。また、肥料の種類、配合は多種多様であり、それぞれの土地に適した肥料改良のアドバイスも行いたい。</p> <p>岡本:この事業の次のステップは何か。</p> <p>片桐:有機肥料の材料保管場所を作る。</p> <p>岡本:直接的な農家への裨益は何か。</p> <p>片桐:化学肥料のコストによって圧迫されている現在の経営を改善することである</p>	

4 その他

岡本：農業試験場での作業は誰がいつまで行うのか。農民が有機栽培を認知した後は、試験場が有機肥料製造センターになるのか。

片桐：試験場では規模的に不可能である。その後は、行政側が支援することになると想像するが、我々がそこまで支援するのかわからない。

岡本：野菜、果樹の栽培についてはどうか。

片桐：野菜、果樹には時間がかかるが、将来は対象としたい。

岡本：家畜糞尿を使用した有機肥料や EM 菌を使用したわら堆肥などの利用は、糞尿の垂れ流しや、材料を焼き捨てる状態にある農民の生活環境を改善させることが期待されるが、1年では期間が短いのではないか。支援型の実施期間は3年までであるが。

片桐：全ての成果が出るには3年から5年を考えている。しかし、今回の提案内容では、比国の農作物発育の速さを考慮すると1年で実施したい。また、そのためにも日本の知恵(溝を作り家畜糞尿を集積する方法など)を具体的に紹介していきたい。

岡本：トラックの使用用途は具体的になにか。

片桐氏：鶏糞、牛糞等の家畜糞尿や籾殻等の堆肥の材料と、製造した肥料の運搬である。

岡本：予算の中でトラック、ローダーの占める割合が大きいが、現地の車両のリースは検討できないか。堆肥製造と運搬時期は限られているから、車両購入は不経済ではないか。

片桐：現場を見てもらえばわかるが、リースは不可能である。

岡本：本件の成果として、具体的な数値目標は可能か。

片桐：実現可能性が不明な数値目標は明言を避けたい。提案書の数値は実現可能な最低ラインである。

また、試験圃の土地はほぼ見込みがついているが、今後交渉の予定である。

以上

特記事項・
要検討事項

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	2国間包括合意(草の根)に関する意見交換
日時	2003年3月11日(火)16:30~17:00
場所	フィリピン事務所
出席者	高田健二職員 岡本、瀧澤征彦職員、神月
概要	
<p>高田:2国間の包括合意形成の方法については、現在大使館と話を進めており、口上書を交換し合意形成を図る方法で比側と合意に達すれば、3月中にも正式に整理できる予定である。この方法は、比国における草の根無償と同様で、案件ごとに個別に文書確認しない方法である。包括合意後は、例えばJICA事務所と比側関係者として個別の内容について確認することとなる。</p> <p>また、草の根技術協力事業の英語名称は、本来JICA Partnership Program...であるが、比国においては、南南協力のスキームで Japan-Philippine Partnership Program が既に使われているため、Technical Cooperation for Grassroots Projects を使用する。</p> <p>岡本:個々の案件については、R/Dで確認することとなるのか。</p> <p>高田:JICA事務所としてはR/Dよりも簡易なものにしたいと考えている。大使館は文書さえ不要ではないかと言っている。</p> <p>岡本:案件内容について文書がまったく残らないのも問題ではないか。</p> <p>高田:JICAと提案団体との間には和文の契約書が残るが、比側との間でも確認が必要であれば文書を残す必要がある。</p> <p>兵庫センターの草の根技協案件では、実施機関との間でM/Mを交わす方針である。</p> <p>また、比におけるNGO登録先はSEC(Securities and Exchange Commission)となる。提案団体の登録の必要性は、比での活用への関与の程度による。本件では、在比の「日比親善同友会」がPJF関係者を比に招待するという形であれば、不要と考えられる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
特記事項・ 要検討事項	

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	JOCVとの意見交換
日時	2003年3月11日(火)17:00~18:00
場所	フィリピン事務所
出席者	佐藤健隊員(稲作)、関原由佳隊員(野菜) 岡本、神月
概要	
<p>岡本から、草の根技術協力(支援型)事業に提案された今回のラグナ州カラワン町の案件について説明を行い、比国農業における有機栽培の可能性、実情を隊員から聴取した。なお、両隊員の活動歴は約1年半である。</p> <p>佐藤:一般的に穀物は生産量を重視し、野菜・果樹は質を重視する。日本でも穀物(稲作)の有機栽培は普及していない。穀物の場合コストをかけて有機栽培してもメリットが少ない。稲作1haに必要な窒素成分30Kgを得るためには、化学肥料の場合は150Kgの肥料で済むが、有機肥料の場合5トンの原材料を使い2トンの肥料を作る必要がある。肥料を作る材料の収集システムがあれば実現可能だが、大規模な有機栽培による米の栽培は難しい。ただし、苗代の施肥などの部分的な有機栽培は可能であろう。化学肥料を使うと連作障害が起きるが、有機肥料の場合はその障害が少ないことは事実である。</p> <p>関原:野菜・果樹の栽培については穀物と異なり、化学肥料による土壌の質劣化の影響は大きい。また農家にとって、化学肥料は非常に高価であり、推奨値の約半分程度しか使用できずに、葉が黄色くなる等の発育不良が起こっている。化学肥料は土を衰弱させるので、裕福な農家では鶏糞を購入して使用している所もある。配属先では、鶏糞を利用している。豚糞、牛糞も利用したいが入手が難しい。比国では、豚や牛が各家の裏庭などに1、2頭飼われている程度であり、集中的な管理による糞尿の収集は難しいと予想される。有機栽培による野菜は良品であり、鮮度も長持ちするが、それを普通の作物と区別して買い取ってくれるマーケットや流通システムはない。有機栽培では害虫駆除も重要となる。比国のスーパーマーケットで販売されるような作物には大量な農薬が散布されており健康被害が危惧されるが、国民にはあまり認識されていない。持続可能な農業という観点からみれば、有機栽培は非常に有用な手段であるが、収量の増加など、直接的な利益が生じなければ農家にとって魅力のない話だと思う。</p> <p>佐藤:稲作の場合は、野菜に比べて病害虫耐性の強い品種が開発されているなど、有機農薬の必要性は低い。また隣接する圃場の栽培サイクルがまちまちであるため、1ヶ所で駆除しても隣の圃場に逃げるなど、対策が難しい。</p> <p>岡本:農産物は自家消費か商品化するのか。商品化の場合、流通ルートはあるのか。 両隊員:小規模な流通ルートはあるが、本当に小規模の農村では自給のために耕作している。</p> <p>岡本:提案書によると中古車両・機材の購入が予定されているが、車両のリースは考えられるか。 両隊員:中古のトラックなどはほぼ普通の値段で売られているが、農業機械の中古販売は聞いたことがない。リースは個人的な交渉以外は不可能だと思う。但し、比国では故障した機械類を直す技術は高いと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
特記事項・ 要検討事項	

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	フィリピン事務所長との意見交換
日時	2003年3月12日(水)9:00～10:00
場所	フィリピン事務所
出席者	中垣長睦所長 岡本、瀧沢征彦職員、神月
概要	
<p>岡本から、今回の調査団の目的、内容に関する説明を行った。(対処方針配布)</p> <p>中垣:草の根という性格上、提案者の NGO と一緒に調査団を編成すべきではないか。</p> <p>岡本:草の根支援型では NGO と JICA が共同の案件形成を試みており、JICA 側のアドヴァイス・コメントを提示し案件内容を随時修正している。本件もコンサルテーションの途中にあるため、最終的に不採択となる可能性もある。</p> <p>中垣:採択までの過程で、現場を見ずに書かれるコメントは机上の理論となりかねない。有識者コメントについても、案件はそれぞれ内容や状況が異なるのに、実情をあまり知らずに書かれているコメントの場合は、そこにどれだけの価値を見出せるのか疑問である。また、どの案件に現地確認調査をするのかと言う基準も作らなければ、不公平感もあるのではないか。案件採択にいたる仕組みについてはまだ検討が必要である。</p> <p>フィリピン事務所では、4月から NGO-JICA デスクを設置する。(要員は既に配置して事務所内で活動を始めている)</p> <p>在外事務所のコメントが御座なりに扱われるケースがある。しかるべき対応がされるならば、在外の担当者もコメント作成に注力できる。現場の声を重要視しない、本部主導型の仕組みを再考する必要がある。</p> <p>中垣:独法化を控えて、外部への説明責任を果たすためにも、国民参加型事業に関するルール作りが必要である。草の根技協事業について本部からペーパーが来たが、量が多く且つ要領を得ない内容であった。草の根の根底にあるのは「人の努力(提案)をどこまで JICA が汲み取るか」にあると理解している。現状の支援型の案件採択の仕組みは、判断の基準が不明瞭であり、かえって NGO に対して不信感を抱かせる可能性もある。例えば各方面から多種多様なコメントが出された時に、最終的判断は誰が行うのか。</p> <p>岡本:外部への透明性を求めた結果、有識者コメントなど現状の案件採択の手順が決まったのだろう。現在、TIC では多数の支援型案件のコンサルテーションを行っているが、実施の仕組みが決まったのが昨年後半であるため、まだ採択が決定した案件は無い。また独法化後は、各省協議(合議)が必要となってくる。</p> <p>中垣:本件提案(支援)団体である(旧)マニラ会は、在比の永住的邦人が多く登録している団体である。有機農法による土壌改良の計画はほかにもあったが(ピナツボ火山噴火後のサトウキビ栽培等)、有機肥料の材料が容易に入手できない等の問題があった。</p> <p>岡本:本件では、精米所に集積された籾殻を利用する予定である。</p> <p>中垣:比国の現状としては、事業背景の「糞尿の垂れ流し」は適切な表現ではない。牛や豚などの家畜の集中的な管理は珍しく、各農家で1～2頭を飼っているケースが多い。利用するとすれば鶏舎の糞尿となるだろう。</p> <p>事業の趣旨は、リサイクル化を目指したものであり期待されるが、提案団体と支援体制を見極める必要がある。</p> <p>岡本:明日、支援体制となるラグナ州知事、カラワン町長と面会する予定である。</p> <p>中垣:比国では、中央の研究体制はかなり進んでいるが、研究結果をチェック・テストし、市民へ</p>	

普及させるまでをつなぐ体制がない。この点では、本件のラグナ州の農業試験場がもし本格的な試験場であれば、かなり先進的な存在となる。

比国では生産性と言ったときに、単位面積当たりのみでなく単位労働力当たりに対する意識が強く、労働に対する対価(成果=良質な農作物)が出来ないと、農民が有機栽培に乗ってこないだろう。また、材料運搬に関するコストの検討も必要であろう。

以上

特記事項・ 要検討事項	
----------------	--

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	日本大使館への表敬訪問・打合せ
日時	2003年3月12日(水)11:00～12:00
場所	在フィリピン共和国日本国大使館
出席者	日本大使館(草の根、NGO担当) 小西洋子専門調査員 間淵利明二等書記官 岡本、瀧澤征彦職員、神月
概要	
<p>岡本から、今回の調査団の目的、内容に関する説明を行った。</p> <p>小西:草の根技術協力事業の支援型では、事前確認調査を必ず行うのか。また、在外事務所に委任することはできないのか。</p> <p>岡本:現地調査は予算の関係もありすべての案件に実施できるものではない。案件によっては在外事務所に現地調査を任せるとも有り得る。</p> <p>草の根技協の国際約束については、口上書の交換による包括合意を行う見込みと聞いているが。</p> <p>小西:手続きのスピードアップを目的に個々の案件ごとの検討は省略する方向である。事業実施段階でJICAは関与するのか。あるいは提案団体に任せるのか。</p> <p>岡本:すべてを任せる訳ではない。モニタリング、精算業務など要所で関与する。</p> <p>今回提案された事業の成果について、JICAは農民への裨益まで含むべきと考えているが、提案では農民への有機栽培に関する啓蒙までとなっている。</p> <p>小西:比国では、草の根無償で「カピテ州シラン町環境配慮型廃棄物処理支援計画」で機材調達を行った案件等、有機栽培事業が複数存在しており、「Foundation for Sustainable Society, Inc.(FSSI)」のように、NGOに対して経営面への支援やコンサルティングを行っている団体もある。また、日本の「熱帯農林技術開発協会」ではラグナ州付近で土壌改良を試み、有機肥料栽培を行っている。</p> <p>草の根無償では、研究・調査事業に終始する懸念がある案件など、直接的な住民への裨益がない案件は採択しない。草の根技術協力事業(支援型)ではJICAの考えがあると思うが、成果を挙げるためにはいくらで生産して、いくらで売るとかまで考えなければ持続することは難しい。</p> <p>また、比国では「OISCA」や「アジア学院」など定評のある団体が熱心に事業を行っており、今回のPJFや日比親善同友会がどこまで関与するかも重要な点だろう。</p> <p>岡本:提案内容において、350万を超える中古車両・機材の見積もりがあり、JICAからリース対応を提案したが難しいとの返答があった。草の根の志向からなじまないと懸念される。</p> <p>小西:比国では、2001年に固形廃棄物処理法が施行され廃棄物の投棄が制限された影響で、複数の団体や自治体でゴミのリサイクル利用が検討されている。</p> <p>開発パートナーのアイセットの事業では、自治体に対し分別収集、環境教育などの計画も進んでおり参考にされたらよいのでは。</p> <p>PJF 片桐氏、日比親善同友会大沢氏ともに面識があるが、比国側NGOの支援も重要な点である。大沢氏は貿易を手がけており、技術指導の実施は困難と予想されるため、自治体の支援体制を確認すべきである。</p> <p>岡本:JICAの国民参加型事業、特に草の根支援型の目的は、日本の団体に参加してもらうことを成果として考えている。</p> <p>小西:研究や試験の事業は時間がかかる一方で、失敗したときは地域住民にしわ寄せが来る。この点の認識をNGOも持つべきである。また、比国にはすでに環境や農業分野のNGOが多数存在しており、日本から割って入り込むメリットがどこにあるのか、検討する必要がある。</p>	
以上	

特記事項・ 要検討事項	
----------------	--

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	JICA-Net フィリピンサテライト視察
日時	2003年3月12日(水)13:30-14:30
場所	フィリピン大学
出席者	加瀬晴子職員、宮坂俊夫企画調査員、Mr. H. K. LEE(JICA-Net Coordinator)、Mr. Benjie P. Garcia(Systems Engineer)、Mr. Glenn M. Manuel(Administrative Staff)、Mr. Reuben M Jimenez (Operations Manager) 岡本、神月
概要	
<p>マニラ中心部から車で40分のルソン市にあるフィリピン大学内 JICA-Net フィリピンサテライトを視察した。また、加瀬職員から JICA-Net 運用の現状を聞いた。</p> <p>運営実施面はNTTとの契約による現地スタッフに委任し、日報を提出してもらっている。また、3月7日から JICA-Net 業務室にいた宮坂企画調査員がフィリピン事務所に派遣され(6ヶ月間)、これまで担当していた加瀬職員と代わって専任体制となる。</p> <p>当日はUNAFEIのセミナーでTICと接続されフィリピン側参加者が部屋を使っていた。パソコンが48台用意されているが、TICの人事行政セミナーの反省(東京の講師からフィリピンの参加者の顔が見えにくいというコメント)をもとに、卓上から端末を降ろして部屋の後ろに置いてあった。今後の計画として、部屋の中央部のアコーディオンカーテンで仕切り、前半分で同期型の研修等、後半分に端末を置いてパソコン教室或いはWBTに使うこと等も検討している。</p> <p>参加者不特定の聴講型講義などの場合は、運営スタッフに広報・募集活動を任せている。この場合、参加者の交通費等は自己負担となる。</p> <p>一方、参加者特定の場合は日当、宿泊費が発生するため JICA 事務所で担当している。いずれの場合も、実施一週間前程度に公電で通知が届くと、慌てて募集活動を行うため、ケソン市近辺の参加者が多くなってしまう。</p> <p>今後は、例えば集団型研修の選考に漏れた候補者と所属機関の人材を対象にした特別セミナー等のように、事前に計画が立てられれば、運営側、参加者ともに満足のいく番組を作ることができると考えられる。</p> <p>現地(フィリピン)側のニーズに基づいて東京から配信する講義を計画するのは、事前の講義内容打合せが十分に出来ないため極めて困難である。</p> <p>TICの視覚障害者支援の講義(聴講)は、NGO関係者も集まり、講義終了後にこの場所で活発な討論が続き、効果が大きかった。</p> <p>通常の事業ではJICAの活動に参加できない層の人も、JICA-Net のイベントには参加できるため、PR効果が大きい。</p> <p>TICの人事行政セミナーの時は、講師が受講者側に語りかけるようにプレゼンテーションしたため、好評だった。双方向コミュニケーションを取ることのできるメリットを活用すべきである。</p> <p>最近ではフィリピン側のカメラも受講者を静止画のように映すのではなく、一人一人をアップで順に映して、配信先の講師に受講者の表情を伝えようと試みている。</p> <p>東京で JICA-Net 関係者の研修が予定されており、フィリピンからも参加する。</p> <p>比国人はあまり残業しないが、運営スタッフは残業、休日出勤までして JICA-Net 運用に取り組んでいる。</p> <p>このサイトの難点はマニラ中心部から離れていることであり、連続して何日か続けるセミナー形式の</p>	

<p>ものは参加者の往来に難がある。 但し最近では月300人程度がここを訪れており、JICA広報のためのJICAプラザのような機能を持たせても良いと考えている。マカティの事務所はセキュリティ対策が厳しいが、ここは自由にアクセスできる利点がある。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
特記事項・ 要検討事項	



フィリピン大学内 JICA-Net サテライトセンター外観(4階)

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	カラワン町長との面談
日時	2003年3月13日(木)9:20-11:00
場所	ラグナ州カラワン町役場
出席者	Mr. Hon George T. BERRIS(Mayor)、Ms. Marnic B. ABOINSAY(Agricultural Technologist)、Mr. Artemio M. APIDA (Municipal Agriculturist)、Mr. Fernando D. COSTA(Agricultural Technologist)、大澤一郎(日比親善同友会長)、小林慎治(日比親善同友会副会長)、片桐和喜(PJF 理事長) 岡本、佐藤健隊員、関原由佳隊員、神月
概要	
<p>岡本から、今回の調査団の目的、内容に関する説明を行った。</p> <p>次いで、町長からカラワン町について説明が行われた。(町の詳細データは資料参照)</p> <p>Mr. BERRIS:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラグナ州カラワン町はマニラから約75キロ、車で1時間30分の場所にあり、マニラから近いという点で立地条件に恵まれている。地理的にはラグナ州のほぼ中心に位置している。 ・ 町全域を Agro-tourism Area にしたいと計画している。南西部には自然林地帯がありここは開発しないで観光地とする。その西側には地熱発電所(400MW)がある。土地利用計画では工業地区が2箇所あるがこれは前町政の時代に策定されたもので、実際には工場の立地はなく今後も予定していない。町内の企業立地はサンミゲル(食品加工)とスパイス加工工場程度である。 ・ 町民約44000人の約8割が農家であり、米、フルーツ(パイナップル、ココナッツ等)を中心に栽培している。町全体の面積は7400ha であるが稲作は主に中北部の平地で栽培しており、作付面積が1500ha、2毛作を行っている。町内に35ヶ所のSpring(水源)があり、200年以上前からの自然灌漑による農業が行われている。化学肥料と農薬の使用量が多く生産量は少ない。 <p>岡本:農業に関して他地域との比較優位は何か。</p> <p>Mr. BERRIS:ラグナ州の中心部に位置していることである。またラグナ州唯一の州営の農産物市場が近いうちにオープンする予定である。</p> <p>大沢:カラワン町はマニラから比較的近く、パイロットプラントの立地としては最適であると判断した。町長は2001年7月の選挙で選ばれ就任2年目である(任期4年?)が、農業分野の知識が豊富でありまた環境配慮にも積極的で信頼できる。</p> <p>Mr. BERRIS:町役場からすぐ近くの6箇所の試験圃で有機栽培を実験している。カラワン町の財政は年37百万ペソであるが、農業関係予算は約2百万ペソである。</p> <p>岡本:有機栽培を普及するに際して有機肥料のコストが化学肥料より高い場合はどうするつもりか</p> <p>Mr. BERRIS:当面は補助をして安くすることになる。</p> <p>岡本:本計画が実施されることになった場合、町としては如何なるサポートができるのか。</p> <p>Mr. BERRIS:まず農民への普及活動、次に堆肥製造の労働力提供、そして堆肥製造のスペース約500㎡の提供である。</p> <p>岡本:有機栽培が軌道に乗れば堆肥製造は民営化できるのではないか。</p> <p>Mr. BERRIS:民営化すると製造技術が独占されることになり、これを避けて共有するために農民の組合による運営としたい。但し農業協同組合は現在まだ組織化されていない。町内の農家は1戸当たり1~2haの経営規模である。</p>	

ドイツ系化学肥料会社(Bayer)の研究所が町内にあり、化学肥料／農薬等の市場開拓を調査している。

以上

特記事項・
要検討事項



カラワン町長を囲んで(町役場にて)

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	ラグナ州知事表敬訪問
日時	2003年3月13日(木)12:00～13:00
場所	ラグナ州知事室
出席者	Ms. Teresita S. LAZARO(Governor)、Mr. Leoncio D. Rebong, JR., DVM(Provincial Veterinarian)、Mr. Hon George T. BERRIS(Mayor)、大澤一郎氏(日比親善同友会長)、小林慎治氏(同副会長)、片桐和喜氏(PJF 理事長) 岡本、佐藤健隊員、関原由佳隊員、神月
概要	
<p>州知事、事業関係者とランチミーティングを行った。</p> <p>州知事、カラワン町長、事業提案者側の友好的な関係を窺い知ることが出来た。また、ラグナ州のほぼ中心に位置するカラワン町での有機栽培実施に対し、知事も適切な事業案であると認識しており、カラワン町長に期待を寄せている。</p> <p>州統治体制については、前任の知事が長い間統治を続けてきたが、2年前の選挙で現知事に変更となった(任期は4年)。 ラグナ州全市町村(2市28町)の連合会において Mr. BERRIS が事務局長であり、州知事とカラワン町長、大沢氏は以前から親交があった。</p> <p>近年、ラグナ州西部には日本企業(トヨタ、日産、シャープ、松下、ソニー等)の工場進出が相次いでおり、州側も日本の支援・協力を期待している。ちなみに、州知事自身も来日経験があり、親日家である点をアピールしていた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
特記事項・要検討事項	



州知事訪問時

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	視察後の協議
日時	2003年3月13日(木)17:20~18:30
場所	ラグナ州カラワン町役場
出席者	Mr. Hon George T. BERRIS(Mayor)、Ms. Marnic B. ABOINSAY(Agricultural Technologist)、Mr. Artemio M. APIDA (Municipal Agriculturist)、Mr. Fernando D. COSTA(Agricultural Technologist)、大澤一郎(日比親善同友会長)、小林慎治(日比親善同友会副会長)、片桐和喜(PJF 理事長) 岡本、佐藤健隊員、関原由佳隊員、神月
概要	
<p>1 町長への質問</p> <p>岡本:農業試験場の管理体制は。 Mr. BERRIS:所有者は政府であり、管理はラグナ州農業課である。州が管理する試験場全体の20ヘクタールの内、2ヘクタールを州から本計画のために無償で借用することで同意を得ている。 大澤:本計画は町単独でなく州と共同運営にしたらどうか。 Mr. BERRIS:州政府の下に農業課があり、町の組織でも農業課が一部所であるが、本計画を州と共同運営にしたら、意志決定の都度州政府の同意が必要になり煩雑となるため町単独としたい。 岡本:肥料製造場所には屋根があるが周囲の壁を追加設置する必要がある。誰が施工するのか。 Mr. BERRIS:未定である。 大澤:カラワン町で施工できるか。 Mr. BERRIS:難しい。 岡本:壁の工事費はどの程度必要か。 Mr. BERRIS:15万ペソ(約35万円)程度であろう。(材料と施工費込み) 大澤:サイトへの導水ポンプが故障しておりその整備が必要となるが州知事がやると言っていた。 岡本:トラック、ペイローダー等の機材投入計画があるが、メンテナンスの体制はどうか。 Mr. BERRIS:肥料製造サイトに置き町が責任を持って行う。目的外には使用しない。</p> <p>岡本:行政側に設置を頼んで、もし計画が滞る可能性があれば、本件の事業予算に見積もる案も考えられる。</p>	
<p>2 試験結果データの説明</p> <p>カラワン町の Ms. Marnic B. ABOINSAY(Agricultural Technologist)から、試験圃での試験結果データについて説明が行われた。(詳細は資料参照) 主な内容は、堆肥収穫量、製造過程の堆肥温度変化、試験協力農家情報、使用有機肥料量、化学肥料と有機肥料の発育比較である。</p>	
<p>3 日費親善同友会、PJF との意見交換</p> <p>岡本:有機栽培を普及させるためには、農民への地道な説明が必要となるだろう。 片桐:これまでも地道に続けてきたが、さらに農民へ認識を広めるためには、有機肥料の生産体制を整える必要がある。 小林:町から提示されたデータは完全なものではないが、町職員が真剣に取り組んでいる様が見て取れたと思う。特に、Ms. Marnic B. ABOINSAY(Agricultural Technologist)はフィリピン大学の農業専門課程を修めており優秀である。 岡本:現場(試験場、試験圃)での指導者が必要ではないか。 片桐:今後は、Ms. Marnic B. ABOINSAY を中心として、アシスタント的な人員を配置してもらおう、</p>	

町に求めていく。

佐藤: 稲作よりも畑作の方が有機肥料の効果が出やすい。マニラ近郊の立地条件を考えると、フルーツや野菜の栽培の方が商品価値が出るのではないかと。

小林: まずは稲作に注力する。野菜用の有機肥料の製造が非常に複雑なのに対し、稲作用の肥料製造は単純である。

片桐: 焼き捨てられている籾殻を有効利用し、住民へ有機栽培を普及させることが本事業の根本の考え方である。

大沢: まずは主食の米で、有機肥料がどれだけ有効かを実感させる。いずれ野菜の栽培にも有機肥料が適用されることは必至と見込んでいる。

片桐: 初めに稲作で有機肥料の良さを知ってもらい普及させる。

またその後には、EM菌を使用して、家庭ごみを原料にした肥料を畑作に使用させる計画である。

岡本: 草の根協力事業(支援型)のプロポーザルとしては、稲作の有機栽培を対象を絞る方が明確でわかりやすいと思う。また、EM菌の計画の指導体制は整っているのか。

小林: EM菌の計画はあくまでも副事業である。

片桐: 事業全体の9割は稲作の有機栽培に注力する見込みである。なお、EM菌の計画は、モデルの家庭を町から指名させる形式で5つほど選抜し、日本の指導者を投入する。

大沢: 岡本課長の提案の通り、稲作を前面に押し出した事業提案の在り方について再検討が必要である。

岡本: 事業提案書では土壌調査を最初を実施することになっているが、内容や規模、必要な機材はどの程度か。

片桐: 土壌成分の酸性・アルカリ性、また粘土質かどうか等の基礎データを収集する予定である。この結果に基づいて土壌改善策を検討する。機材は特に必要なく、簡易なリトマス試験紙等を持ち込む予定である。

小林: 今後、規模を拡大して実施しようと思えば、これまでとは異なる条件設定などが必要となり、多様な対応が求められるだろう。

大沢: これまで展開してきた6農家の試験圃には、数多くの視察者が訪れている。肥料の製造体制が整い、有機肥料を使用した田圃が増えれば、さらに注目を集めることは必至である。

岡本: 現在の試験圃の立地は町役場周辺に散在しているが、規模拡大後はどうするのか。

片桐: 栽培場所を集中させるのかどうか、町と相談していきたい。

大沢: 製造した堆肥の成分をフィリピン大学の研究室で解析してもらったところ満足な結果だった。

以上

特記事項・ 要検討事項	
----------------	--

会議・打ち合わせ記録

業務第一課(担当:岡本課長、神月)

件名	フィリピン事務所への報告・意見交換
日時	2003年3月14日(金)13:00~14:00
場所	フィリピン事務所
出席者	中垣長睦所長、高田裕彦次長、滝沢征彦職員 岡本、神月
概要	
<p>岡本から、今回の調査団の調査結果について現地報告書をもとに説明を行った。</p> <p>中垣:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業提案者、及び技術支援者が所在する新潟県笹神村は温帯地方であり、ラグナ州は熱帯地方である。このため、栽培状況に関する安易な比較や、これまでの経験則に基づく技術移転はできない。気温が高いと堆肥の施肥後の分解速度も速く、施肥料が日本より多くなるはず。 ・ 環境への配慮という事業テーマは有意義だが、全体の費用対効果の見通しが見えず、この状態では構想のみであり持続性は低い。 ・ もともと有機肥料は小規模な利用(苗床栽培時のみに利用する等)に向いており、大規模な利用は難しい。 ・ 2毛作を行うならば灌漑が重要となる。 ・ 肥料の製造販売については組合組織による運営を構想しているが、簡単に出来るものならばすでに誰かがやっているはず。(実現が困難) ・ 農作物栽培分野の技術移転では、指導者が常駐してケアしないと難しい。一時的な指導がなされても、農民のみでは持続しない。 <p>岡本: 現地視察を行ったが、試験圃ではそれなりの成果が出ている。</p> <p>中垣: 現在は小規模な段階であるが、今後規模を拡大すれば、これまでとは違う問題が発生してくる可能性がある。</p> <p>また、生産コスト(農家が負担するコスト)などの将来展望がない。作った後に利益が上がらないと結局は失敗する。</p> <p>岡本: 協力隊員からも、有機栽培では稲作よりも野菜の栽培の方が有益であるとの指摘があった。</p> <p>中垣: 野菜の方が付加価値が高くなるから当然と言えよう。但し付加価値の高い農産物を流通販売するシステムがフィリピンには無いため、軌道に乗せるのは難しい。</p> <p>中垣: 本事業では①技術移転へのバックアップ体制、②コストパフォーマンス(コスト面の分析・検討)の検討が必要である。</p> <p>①では、1年間に3泊4日×4回の技術指導が予定されているが、これではただ単に現象をみただけで、原因も分からずにアドバイスが出来るのか疑問である。例えば、プロジェクトの技術指導では、月一回指導を行っていても、うまく行かないケースもある。他のプロジェクトとの比較や、自分の経験から考えると、本件は提案者の情熱のみで動いているように見受けられる。</p> <p>最終的には在外事務所が矢面に立たされることになるので、事務所としては、上記①②を再検討してもらい必要がある。フィリピンの農家は生産性という時に、単位面積当たりの収量(収入)と同時に、単位労働力当たりの収入という面にも敏感である点に留意すべきである。農家の家計分析まで試算して、受入れられるか、自立できるかどうか検討した方が良い。</p> <p>中垣: 本事業は1年間を予定しているが、内容を考えるといささか無謀である。内容に即するのであ</p>	

れば3年に期間設定するか、1年度で実施するならば支援型に適した事業サイズに縮小すべきである。

高田:草の根という性格上、なるべく取り上げるべきところではあるが。

中垣:たとえ草の根であっても、1年間で資金・機材を投入し、仮に失敗するとすれば、そのような研究事業スタイルはいかがか。機材等のハード面の予算をソフト面(笹神村の支援者の長期滞在費等)に充てるべきである。

また、比国は熱帯地方であるため、一年中作付けが行われているように捉えられているが、5月の雨期が第一作目、9月～11月の収穫後、12月～1月が第二作目と作付けのサイクルがある。5月は籾殻を焼き尽くした直後であり、その点は懸念事項である。

さらに、技術指導の際のコミュニケーションの問題(タガログ語通訳)が挙げられる。大澤氏が通訳業務を担うとあるが、他のプロジェクトを見ても分かるように、コミュニケーションの問題は大きい。このような課題を鑑みると、現地でのもっと多くの支援体制が必要となろう。

以上

特記事項・ 要検討事項	
----------------	--

MUNICIPAL PROFILE

Region: IV
Province: Laguna
Municipality: Calauan

BRIEF HISTORY

The fertile soil of Calauan attracted the attention of Captain Juan de Salcedo, when he passed through Laguna and Tayabas (now Quezon) on his way to the Bicol Region in 1570. Ten years later, Spanish authorities established a town government two kilometers from the site of the present Poblacion, in what is now Barrio Mabacan. They called the town site " Calauan " (tagalog for rust.) Following an epidemic in 1703, the town was moved to its present site at the fork of three roads – now, to the southwest leading to the San Pablo City, the other southeastward to Sta. Cruz, the provincial capital, and the third, going north to Manila.

It is said that a rich woman of Calauan paid for the construction of a concrete church in 1787, and the Archbishop in Manila installed San Isidro Labrador and San Roque, as Patron Saints of the town, whose feast day fell on May 15. At the turn of the 18th century, when Bay was designated as the provincial capital of Laguna, Calauan became a sitio of Bay. Merchants going to southern Luzon usually passed through large tracts of land in Calauan. The Landholding of Indigo and, later, of his heirs were so vast that many portions were still unsettled. The property was and still is, known as Hacienda Calauan. About a century later, the people of Calauan fought the "Guardia civil" during the Philippine Revolution. Basilio Geiroza (better known as Cablesang Basilio) and his men routed a battalion of " Guardia Civiles" in a five-hour battle in Barrio Cupangan (now Lamot 1) in December 1897. During the subsequent Philippine-American hostilities, Calauan patriots fought numerically superior forces of General Otis in Barrio San Diego of San Pablo. With the establishment of Civilian authority in Calauan in 1902, the American assigned Mariano Marfori in 1926, and Maraiano O. Marfori, Jr., the son of the first municipal presidente, as hospital director and resident physician, respectively. (The hospital unfortunately, was destroyed in World War II and has not been rebuilt since then).

In 1939, by the request of President Quezon, Doña Margarita Roxas Vda. De Soriano, granddaughter of the Spaniard Indigo, subdivided Hacienda Calauan and sold it to the tenants, part of what remained was converted into a rest house and swimming pool. And it became one of the tourist attraction until 1956.

Calauan is an agricultural town with seventeen (17) barangays covering approximately on the North by Laguna de Bay, on the South by San Pablo City, on the East by Nagcarlan, and on the West by Bay. The town got its name from the term "Kalawang" which means rust. It was claimed that, for centuries, lump of rust surfaced and drifted gently on a body of water called "Macalawang Spring". This spring was situated nearly three (3) kilometers from the town proper.

Another interesting premise, upon which the name Calauan was chosen, has a little story to tell. During the early part of Spanish sovereignty over the Philippines, there was a village located west of the town where an old man found a cross made of stone. Since Christianity was being introduced in the town, the people felt they should treat such cross with value and reverence. They held a mass at the spot where the stone cross was found. To the surprise of all, during the celebration of the mass, water sprang out from the exact place where the stone was located. The water was yellowish and "rusty". To commemorate this mysterious event, the people built a church on the site. They made sure that the altar was constructed right on the spot where the water had sprung out. The village had grown larger and populated and became the town proper. Being mostly farmers, the people chose to honor San Isidro Labrador and San Roque as their Patron Saints. May 15 and 16 respectively, have been their celebration dates. Until now, the celebration of feast day continues to live on. The various traditions and the rich culture of Calauan are still being observed.

Mabacan	2,796	590
Masiit	3,892	841
Paliparan	630	125
Perez	2,081	417
Poblacion-Kanluran	1,978	411
Poblacion-Silangan	1,900	403
Prinza	2,491	506
San Isidro	1,797	379
Sto. Tomas	<u>2,096</u>	<u>423</u>
Total	43,284	8,818

IV. SOURCE OF POWER : National Power Corporation (NAPOCOR)
 Electric Service : Manila Electric Company (MERALCO)

V. SOURCE OF WATER: Laguna Water District for Barangays Dayap,
 Sto. Tomas, Lamot I & Lamot II.
 Shallow Well and Deep Well

VI. INCOME CLASS OF MUNICIPALITY: 3rd class Municipality

Annual Income (3 years):

1998	-	27,954,112.04
1999	-	29,198,998.85
2000	-	30,544,061.29

VII. SOURCES OF LIVELIHOOD

PERCENTAGE:

1. Farming	80
2. Fishing	-
3. Livestock	2
4. Employment	10
5. Business	5
6. Others	3

VIII. DIRECTORY

A. Financial Institutions

1. Rural Bank of Calauan, Inc.	Rizal St. Barangay Silangan
2. Luzon Development Bank	Geirosa Ave. Barangay Silangan

B. Lending Institutions

1. M. Taningco Pawnshop
2. Agencia Palawña
3. Calaba Pawnshop
4. Jacas Pawnshop

Geirosa Ave. Barangay Silangan
Marfori St. Barangay Silangan
Geirosa Ave., Barangay Silangan
Barangay Prinza

C. Government Institution

NONE

D. Private Schools

1. Liceo de Calauan
2. Grace Christian Community School
3. Brightland School International Inc.
4. Refiners Christian School
5. Greenville Academy

E. Telecommunications

1. PLDT
2. PT&T
3. Mobiline
4. Globe
5. Smart

F. Gasoline Station

1. Petron Gas Station
2. Laurena Shell Station

Barangay Masiit
Barangay Kanluran

G. Power Plants

1. Philippine Geothermal, Inc. (PGI)
Mak-Ban Geothermal Power Plant
2. Philippine Power & Dev't Co.
3. ORMAT, Inc.

Geothermal Plant Limao
Hydro Electric Power Prinza
Geothermal Limao

H. Rice Mills/Feeds Mills

1. Victoria Rice Mill
2. Barangay Kiskisan
3. Bergantino Rice Mill
4. Vill Mill Corp.
5. Ramirez Rice Mill
6. Masagana Rice Mill
7. King Erwin Rice Mill
8. Angeles Feed Mill
9. Pico Bigasan

Barangay San Isidro
Barangay Masiit
Barangay Silangan
Barangay Silangan
Barangay Silangan
Barangay Masiit
Barangay Masiit
Barangay Lamot II
Barangay Lamot I

I. Industries

1. A & C Millares Fruit Processing, Inc.	Fruit Processing	Balayhangin
2. Acrotech Farms, Inc.	Contract Grower	Mabacan
3. A & C Millares Poultry Processing Plant	Dressing Plant	Prinza

J. Fishpond/Poultry/Piggery/Cattle/Hog Farms

1. MAA Industrial Corp.	Poultry	Paliparan
2. Angeles Farm	Piggery	Limao
3. Prodeus Farm	Poultry	Imok
4. FLV Farms &	Piggery	Sto. Tomas
5. CIF Agri-Corp.	Poultry	Perez
6. M.C. Faylona Farm	Poultry	Limao
7. D & K Ventures, Inc.	Poultry	Lamot II
8. Castillo Farm	Poultry	Mabacan
9. Snouts & Tails Piggery Farm	Piggery	Sto. Tomas
10. Lily of the Valley Farm	Hog Grower	Sto. Tomas
11. Viring Hog Farm	Hog Grower	Lamot II
12. Edward Soriano Farm	Cattle	Mabacan
13. Adam's Poultry Farm	Poultry	Lamot II
14. Sumadsad Poultry Farm	Poultry	San Isidro
15. Silva Poultry Farm	Poultry	Limao
16. Punzalan Poultry Farm	Poultry	Paliparan
17. Marfori Poultry Farm	Poultry	Balayhangin
18. Erlinda Mejino Poultry	Poultry	Lamot 2
19. Simbulan Farm	Poultry	Mabacan
20. Marciano Padilla	Poultry	Lamot 2
21. Charito Avenido	Poultry	Mabacan
22. Sally Ignacio Farm	Poultry	Mabacan
23. Mayeth Hatchery	Poultry	Bangyas

K. Handicraft/Garments/Furniture Manufacturers

1. Pro Craft International, Inc.	Gloves	Lamot II
2. Royal Seeds	Handicraft	Lamot II
3. Family Interior Arts	Furniture	Masiit
4. Cabinex Modufumi system	Furniture	San Isidro
5. Four quen's Garments	Garments	Dayap

L. Experimental Stations

<u>Name</u>	<u>Product</u>	<u>Location</u>
1. AVENTIS Crop Science Philippines, Inc.	Rice	Masiit
2. LLDA	Fish Production	Bangyas
3. SAN MIGUEL CORPORATION (Feeds & Livestock Division)	Feeds/Hybrid Corn	Mabacan

M. Resorts

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. Hidden Valley Resorts | Limao |
| 2. Villa Juanita | Lamot I |
| 3. Calumbahin Resort | Prinza |
| 4. Majgell Resort | Prinza |

N. Cemeteries

- | | | |
|--------------------------------|---------|-------------|
| 1. Calauan Cemetery | Public | Balayhangin |
| 2. Saint Isidore Memorial Park | Private | Balayhangin |

LIST OF EXISTING SUBDIVISIONS:

- | | | |
|--|--|-------------|
| 1. CPAMMSVILLE Subdivision
(Carmen, Petronilo, Auxilladora,
Marfori, Madrigal Salud) | | Balayhangin |
| 2. Lamot II Multi-Purpose Coop., Inc. | | Lamot II |
| 3. A. Marfori Subdivision | | Silangan |
| 4. Roadside Park Subdivision (Perloville) | | Prinza |
| 5. Highway Rows Subdivision
(Eudovigio Roxas Sr.) | | Masiit |

ACCREDITED N G O 's

1. Buklod Biyayang Kristiyano Inc.
2. Hanggan Primary Multi-Purpose Cooperative, Inc.
3. Lamot 2 Primary Multi-Purpose Cooperative, Inc.
4. Dayap-Wakat Primary Multi- Purpose Cooperative, Inc.
5. Dayap credit Cooperative Development, Inc.
6. Balayhangin Primary Multi-Purpose Cooperative, Inc.
7. Kalipinan ng mga Samahan sa Calauan, Laguna
8. Cross Foundation Agency for the Rehabilitation of the Disabled Inc.
(CFARD)
9. Calauan-Bay Dairy Cooperative
10. Dayap Irrigators Service Association
11. Mabacan Samahan ng Magpapatubig, Inc.
12. Samahan ng Magsasaka ng Santol (Brgy. Bangyas)
13. Samahan ng Calauan Tricycle Operators & Drivers Association, Inc.
(CATODA)
14. Bangyas Greenery Multi-Purpose Cooperative (BGMPC)
15. Masiit Multi-Purpose Cooperative (MMPC)
16. Curva Farmers Development Multi-Purpose Cooperative
17. Bantay Bayan Foundation Inc. (BBFI) Calauan Chapter

CIVIC ORGANIZATIONS

1. Rotary Club of Calauan
2. Calauan Jaycees

CATHOLIC RELIGIOUS ORGANIZATIONS:

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. Apostolado ng Pananalangin | Sis Nady P. Maligalig |
| 2. Catholic Charismatic Movement | Sis. Ine Angeles |
| 3. Catholic Women's League | Sis. Baby Berris |
| 4. Christ the King | Bro. Adriano H. Velecina |
| 5. Confradia de San Jose/Del Carmen | Bro. Ulderico Gloria |
| 6. Confradia de Sto. Niño | Bro. Demetrio Mediarito |
| 7. Parish Catechetical Ministry | Sis. Nina M. Marzo |
| 8. Couples for Christ | Bro. Efren Em |
| 9. Curcillo Movement | Sis. Lita Tan |
| 10. Divine Mercy | Sis. Mercy Valencia |
| 11. El Shaddai | Sis Lulu Alban |
| 12. Holy Face | Bro. Jess Ruanes |
| 13. Knights of the Altar | Bro. Eman Putungan |
| 14. Knights of Columbus | Bro. Fred Bangabang |
| 15. Lectors & Commentator's Guild | Sis. Emie Ladra |
| 16. Legion of Mary | Sis. Titang Gonzales |
| 17. Mother Butler's Guild | Sis. Edwina Guitierrez |
| 18. Munting Sambayanang Kristiyano | Bro. Oscar Putungan |
| 19. Perpetual Help | Sis. Aurea Kawit |
| 20. Pieta | Sis. Puring Encarnacion |
| 21. San Lorenzo Ruiz | Sis. Gloria Tabinga |
| 22. Usherettes & Collector's Guild | Sis. Tina Neptuno |

RELIGIOUS GROUPS:

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. San Isidro Labrador Parish Church | Rev. Fr. George Seldon Coronado |
| 2. Iglesia ni Kristo | Minister Rosendo Estrabo, Sr. |
| 3. Christian Reformed Church | Ptr. Virgilio Bernardino |
| 4. Jehova's Witnesses | Mr. Rodante Malitic |
| 5. Church of Jesus Christ of Later Day Saints | Bishop Roger Baldovina Jr. |
| 6. Baptist | |
| 7. Pentecostal Missionary Church of Christ (4 th Watch) | Ptr. Danilo M. Perez |

LIST OF ELECTED MUNICIPAL OFFICIALS:

Municipal Mayor	<i>Hon. Buenafrido T. Berris</i>
Municipal Vice Mayor	<i>Hon. Germenegildo M. Ilagan</i>
Sangguniang Bayan members:	<i>Hon. Eduardo P. Sanchez, Sr.</i> <i>Hon. Portia Cristina Frando-Dauz</i> <i>Hon. Ma. Jesusa Q. Larona</i> <i>Hon. Nelson Cosico</i> <i>Hon. Cesar Castro</i> <i>Hon. Rollie Martin C. Hilario</i> <i>Hon. Dimna Maligalig</i> <i>Hon. Allan Jun V. Sanchez</i>
Pres.-Liga ng mga Barangay/ ABC President	<i>Hon. Alfredo S. Valendia</i>
SK Federation President	<i>Hon. Homer Jefrille E. Hillario</i>

APPOINTED OFFICIALS:

Municipal Assessor	<i>Mr. Lito Marfori</i>
Municipal Treasurer	<i>Ms. Carina C. Dalawang Bayan</i>
Municipal Planning & Development Coordinator	<i>Ms. Ma. Zena C. Gloria</i>
Mun. Civil Registrar (Acting)	<i>Ms. Ligaya S. Alcantara</i>
Mun. Budget Officer	<i>Mr. Jose G. Medel</i>
Municipal Accountant	<i>Mr. Romulo M. Alcantara</i>
Municipal Engineer	<i>Engr. Raul L. Malijan</i>
Municipal Agriculturist I	<i>Mr. Artemio Arida</i>
Rural Health Physician	<i>Dr. Florito G. Aliasas</i>
Municipal Social Welfare & Development Officer I	<i>Ms. Rhodora Theresa B. Valencia</i>
Secretary to the Sangguniang Bayan	<i>Ms. Luzviminda B. Faylon</i>

TECHNICAL AGENCY HEADS

<i>Mrs. Victoria C. Hernandez</i>	LGOO V-DILG
<i>Mrs. Myrna P. Villalba</i>	Municipal Agrarian Reform Officer-DAR
<i>Ms. Emerlita Palconan</i>	OIC-District Supervisor-DECS
<i>Mr. Manolito N. Plata</i>	Post Master-Phil. Postal Corporation
<i>Mrs. Nonita R. Nora</i>	Operator –in-charge Bureau of Telecommunications
<i>Mr. Amadeo I. Isles</i>	Election Officer II COMELEC
<i>Ms. Fe Gladys B. Gagarin</i>	Acting Revenue Collection Agent Bureau of Internal Revenue
<i>P/Supt. Mario T. Pecho</i>	Chief of Police Philippine National Police
<i>Hon. Amy Melba S. Belulia</i>	Acting Presiding Judge MTC-Supreme Court
<i>SFO1 Elmer Dizon</i>	Municipal Fire Marshall-OIC
<i>Mrs. Florita C. Balba</i>	Laguna Water District

OFFICIAL SEAL OF CALAUAN:

"PINEAPPLE"

SEAL SYMBOLISM:

- Shield - derived from the provincial seal of Laguna where the town is located.
- Crown - the seventeent (17) leaves of the crown of the pineapple represented the seventeen (17) barangays comprising the municipality
- Body - symbolizes the entire community of Calauan
- Eyes - symbolizes the positive socio-political awareness of the government and its people
- Coconut trees - symbolize the self-reliance of the people
- Green color - symbolizes the people's hope for progress and a brighter future.

OFFICIAL MOTTO:

**"RIGHT IS MIGHT GEARED TOWARDS THE VIABILITY
OF CONTINUOUS PROGRESS"**

MUNICIPAL MAYORS:

Name	Term of Office
1. Mariano B. Marfori	1902-1909
2. Mariano L. Medel	1909-1912
3. Felix Limchongco	1912-1918
4. Gaspar Fajardo	1918-1921
5. Ramon Limdico	1921-1930
6. Mariano Taningco	1930-1936
7. Leoncio Geirosa	1936-1937
8. Gabriel M. Pajadan	1937-1939
9. Alfredo M. Marfori	1939-1944
10. Mariano O. Marfori Jr.	1944-1945
11. Dominador M. Alvela	1945-1951
12. Juan V. Brion	1951-1980
13. Antonio L. Sanchez	1980-1986
14. Jaime A. Gasapos (OIC)	1986-1988
15. Antonio L. Sanchez	1988-1993
16. Ubaldo Brion (OIC)	1993-1995
17. Editha V. Sanchez	1995-2001
18. Buenafrido T. Berris	2001 to Date

ECONOMIC ACTIVITIES:

Calauan is a typical rural community with an agricultural economy. Calauan's major crop is rice, which occupies a large portion of its agricultural land and upon which most of the populace depend upon their income. Coconut is the next leading crop planted to 894 hectares. This hectarage is intercropped with lanzones, coffee, bananas, cacao and pineapple. Sugarcane, root crops and vegetables are also planted. Most of the people are farmers. Aside from agriculture, other incomes are derived from employment, commercial and industrial activities.

Concerning commerce and industry, data obtained through primary survey reveal 283 establishments are categorized under different types of commercial activities. These categories are broadly grouped under eight major activities, such as retail merchandise services, manufacturing industry, servicing firms, recreational establishments, transportation services, financial and agricultural and economic services. Most of the establishments are found in the Poblacion since they completed the urban way of life.

LIST OF ELECTED BARANGAY OFFICIALS:

1. Barangay KANLURAN

Hon Irma B. Kraft	Barangay. Captain
Hon. Joseph P. Larona	Councilman
Hon Danilo C. Malitic	Councilman
Hon. Apolonio F. Carpio	Councilman
Hon. Mario C. Cabuhat	Councilman
Hon. Renato M. Quizon Sr.	Councilman
Hon. Vicente M. Carreon	Councilman
Hon. Jacinto P. Calongcalong	Councilman
Ms. Julieta M. Libed	Brgy. Secretary
Ms. Genielyn Mata	Brgy. Treasurer
Hon. Revolution a. Maranan	SK Chairman

2. Barangay SILANGAN

Hon. Cenen M. Mendoza	Barangay. Captain
Hon. Fernando D. Caparaz	Councilman
Hon. Antero S. Escarez	Councilman
Hon Romeo B. Ramos	Councilman
Hon. Virgilio C. Alvarez	Councilman
Hon. Armando E. Sanchez	Councilman
Hon. Purita S. Pacion	Councilwoman
Ms. Rosario A. Ramirez	Brgy. Secretary
Ms. Heide Ramirez	Brgy. Treasurer
Hon. Homer Jerfrille E. Hilario	SK Chairman

3. Barangay BALAYHANGIN

Hon. Estanislao V. Felipe	Barangay Captain
Hon. Cecilia M. Angeles	Councilwoman
Hon. Arturo A. Alcantara	Councilman
Hon. Romeo B. Manalo	Councilman
Hon. Carlos A. Uichangco	Councilman
Hon. Jaime R. Canubas	Councilman
Hon. Noel V. Mendoza	Councilman
Hon. Manuel C. Gatpolintan	Councilman
Ms. Marissa M. Gozo	Brgy. Secretary
Ms. Rosalinda B. Almanza	Brgy. Treasurer
Hon. Bernadette C. Igne	SK Chairman

4. Barangay BANGYAS

Hon. Alfredo S. Valendia	Barangay Captain
Hon. Gorgonia D. Toralba	Councilwoman
Hon. Rodrigo P. San Esteban	Councilman
Hon. Antonia C. Cosico	Councilwoman
Hon. Claro A. Estenor	Councilman
Hon. Reynaldo M. Arban	Councilman
Hon. Alberto D. Labador	Councilman
Hon. Cesario Atienza	Councilman
Mr. Victorino C. Maglalaing	Brgy. Secretary
Mr. Leonardo S. dela Cruz	Brgy. Treasurer
Hon. Roberto V. Anda	SK Chairman

5. Barangay DAYAP

Hon. Angelito G. Elleva	Barangay Captain
Hon. Roberto A. Ramilo	Councilman
Hon. Edna P. Reyes	Councilwoman
Hon. Rolando S. Gonzales	Councilman
Hon. Josefina O. Manipol	Councilwoman
Hon. Felino M. Francia	Councilman
Hon. Fermin A. Agonia	Councilman
Hon. Ernesto S. Bisco	Councilman
Ms. Gemma P. Suliguin	Brgy. Secretary
Mr. Edgardo F. Cantalejo	Brgy. Treasurer
Hon. Reynante A. Mediarito	SK Chairman

12. Barangay PRINZA

Hon. Nestor P. Alzona	Barangay Captain
Hon. Priscilo B. Malveda	Councilman
Hon. Lolito F. Viray (D) 01/07/2001	Councilman
Hon. Fred N. Bangabang	Councilman
Hon. Rodelio B. Marasigan	Councilman
Hon. Adonis E. Pajadan	Councilman
Hon. Ederlinda A. Cosico	Councilwoman
Mr. Leandro A. Libed	Brgy. Secretary
Ms. Amor C. Lizan	Brgy. Treasurer
Hon. Donnabelle P. Maligalig	SK Chairman

13. Barangay MASIIT

Hon. Edilberto A. Alcantara	Barangay Captain
Hon. Zenaida V. Zarate	Councilwoman
Hon. Ruben M. delos Santos	Councilman
Hon. Juanito R. Alias	Councilman
Hon. Rolando N. Alcantara	Councilman
Hon. Leonardo T. Calongcalong	Councilman
Hon. Jose C. Barayang	Councilman
Hon. Jose V. Paynaganan	Councilman
Ms. Minerva J. Tauban	Brgy. Secretary
Ms. Yolanda V. Valatero	Brgy. Treasurer
Hon. Jay Basila	SK Chairman

14. Barangay PALIPARAN

Hon. Efren A. Leus	Barangay Captain
Hon. Alexander F. Libang	Councilman
Hon. Bryan A. Leus	Councilman
Hon. Mario H. Llanto	Councilman
Hon. Roberto S. Cuerto	Councilman
Hon. Fortunato L. Tresvalles	Councilman
Hon. Rolando L. Monterde	Councilman
Hon. Reynaldo A. Villaruz	Councilman
Mr. Nezer A. Macandili	Brgy. Treasurer
Ms. Elisa L. Leus	Brgy. Secretary
Hon. Leonor Umali	SK Chairman

【 (2) ラグナ州カラワン町政 (ウェブサイト用資料) 】

CONTENT

WEBSITE TEMPLATE CHECKLIST	1
HOMEPAGE	1
ABOUT THE PAGE	1
<u>Background</u>	
1. Office of the Mayor	1
a. Message in Action	1
b. Staff	1
2. Key Officers	1
3. Vision and Mission	2
<u>Profile</u>	
4. History	2
5. Location Map	3
6. Geographical Data	4
7. Vital Indicators	7
<u>Local Development</u>	
8. Development Programs	8
a. On-going Projects	8
b. Completed Projects	8
c. Projects for Development	8
d. SOCIAL DEVELOPMENT	
1. Housing Program	9
2. Education Program	9
3. Health Program	9
4. Environmental Program	9
5. Protective Services	10
6. Social Welfare	10
7. Nutrition Program	10
8. Livelihood	10
9. Others	10
e. ECONOMIC DEVELOPMENT	
1. Agriculture	10
2. Livestock	10
3. Commerce	10
4. Others	10
9. Agricultural Assistance	10
10. Environmental Programs	11
11. Service Improvements	11
<u>Products</u>	
12. Marine	11

13. Industry	11
<u>News</u>	
14. Crime rate down	12
<u>Ordinances</u>	
15. Existing Ordinances	12
SERVICES PAGE	13
<u>Community Services</u>	
16. Health	
a. health services (include basic services for health)	13
b. health centers/workers	13
c. health projects	13
17. Social Welfare	
a. social services	13
b. social welfare centers/workers	13
c. social welfare projects	13
18. Peace and Order	
a. Police assistance	14
19. Infrastructure	
a. Infrastructure services	15
b. on - going projects	15
c. finished projects	15
20. Education	
a. Primary Schools	15
b. Secondary Schools	16
21. Real Property Tax Administration	16
22. Business Permits and Licensing	16
23. Community Tax	16
<u>Civil Registry</u>	
24. Birth Certificates	17
25. Marriage License	17
26. Death Certificate	17
<u>Others</u>	
27. PHILIPPINE GEOTHERMAL, INC. (PGI)	17
28. HOUSING	18
29. LAGUNA LAKE DEVELOPMENT AUTHORITY (LLDA)	19
30. SPORTS AND RECREATION	19
TOURISM PAGE	20
<u>What we Offer</u>	

1. Nature's Wonders (if any)	20
A. Hidden Valley Springs	20
B. Lucidel Fishing Resort and Restaurant	21
C. Calumbahin Resort	21
D. Junnits' Resort	21
E. Majgell Resort	21
2. Fine Cuisine	
A. Lucidel Fishing Resort and Restaurant	22
B. FAST FOOD	22
3. Accommodations	22
A. Hidden Valley Springs	22
B. Lucidel Fishing Resort and Restaurant	22
C. Calumbahin Resort	22
D. Majgell Resort	22
E. Junnits' Resort	22
F. Center for Rural Technology Development (CRTD)	22
G. LAGUNA TRAINING CENTER	23
H. NATIONAL DAIRY AUTHORITY (NDA)	24
4. Events (beauty pageants, etc.)	24
<u>How to get here</u>	
1. From other countries (include airline transport)	24
2. From Manila	24
3. Getting Around	25
<u>Information Centers</u>	
1. Tourism Administration	25
<u>Developments</u>	
1. Development Plans	25
INVESTMENTS PAGE	27
<u>Business Profile</u>	
1. Business Community	27
2. Products	27
<u>On Agriculture</u>	
1. Fish Repository and Fishing or others	28
2. Fruits & Vegetables Stations, etc.	28
FUNDING PAGE	29
<u>Types</u>	
Local Banks	29
OTHER FUNDINGS	29

WEBSITE TEMPLATE CHECKLIST:

HOME PAGE

Description or overview of the municipality

ABOUT PAGE

Background

1. Office of the Mayor

a. Message in Action

A better, cleaner and a more peaceful CALAUAN – this is the ultimate dream of every Calaueno. Just like them, I would like also to live in such a community. That is why I am doing everything I can to make this dream a reality.

My parents have been my guidance and that they have influenced me a lot. They taught me the value of perseverance and hard work. They made me a better person that I am today because they have been my role models ever since I was a kid. And now that I am the highest official and holding a great deal in the lives of our men, I would like to be a role model myself. Not only to my colleagues but also most especially to my constituents.

Being a Municipal Mayor is not at all easy. One has to be responsible and willing to learn more. For learning is a never-ending process; it is in this way that I can improve my craft and myself. I am proud to say that with eighteen months of service, I have learned so much from the people I have worked with. The everyday experiences are real gems because they mold me to be a better person; a renewed individual with a wider perspective about many aspects in life.

The hardships and the intrigues are all part of the game. That, I have learned to take. I think that all politicians have gone in this phase once in their lives. And I am truly grateful to have a very supportive family behind me to surpass the trials that have come my way. They have been always there to help, to inspire, to love, and to accept me.

As I continue my journey, I would like to seek the assistance and support of everyone. I cannot do this alone; I will certainly need a hand to help me out with all the plans and projects lined up for the future. I am confident that with the support of our people, nothing is impossible. The new CALAUAN will rise and beam with glory- a place where we could live a happy and prosperous life; a place filled with dreams and aspirations; a place we can all be proud of.

I know that these will all come true. With all the people doing their part, I know that progress will be at our reach. So let us unite for a NEW and much BETTER CALAUAN!

Mabuhay po kayong Lahat!!!

b. Staff

Name	Position	Contact #	E-mail Address
1. Baltazar Tuazon	Private Secretary II	(049) 568-0021	
2. Annabelle Gonzales	Clerk III	(049) 248-2933	
3. Ramon Ramilo	Clerk II	(049) 248-2933	
4. _____	Driver (Casual)	(049) 248-2933	
5. _____			

2. Key Officers

Position	Name	Contact #	E-mail Address
Municipal Mayor	Hon. Buenafredo T. Berris	(049) 568-0012	gberris@laaguna.net
Municipal Vice Mayor	Hon. Germinigildo Liagan	(049) 568-0015	
Municipal Assessor	Mr. Lito M. Marfori	(049) 568-0019	
Municipal Treasurer	Ms. Carina C. Dalawangbayan	(049) 568-0014	
MPDC	Ms. Maria Zena C. Gloria	(049) 568-0079	
Municipal Civil Registrar	Mr. Dario C. Escarez	(049) 568-0044	
Municipal Budget Officer I	Mr. Jose G. Medel	(049) 568-0019	
Municipal Accountant	Mr. Romulo A. Alcantara	(049) 568-0017	
Municipal Engineer	Engr. Raul L. Malljan	(049) 568-0079	
Municipal Agriculturist I	Mr. Artemio M. Arida	(049) 568-0013	
Rural Health Physician		(049) 568-0016	
MSWD Officer I	Ms. Rhodora Teresa B. Valencia	(049) 568-0018	
Sariggunian Bayan Secretary	Ms. Luzviminda B. Faylon	(049) 568-0015	

3. Vision and Mission

VISION

The municipality envisions a well-developed community characterized by a high level of living, high level of morality, fast delivery of basic services, clean and safe environment, easy access to all information, proper use of lands and functional and effective government officials.

MISSION

Encourage people to participate and initiate consultation, promote peace and prosperity among the constituents, provide healthy environment for the maximum growth of human potential.

Profile

4. History

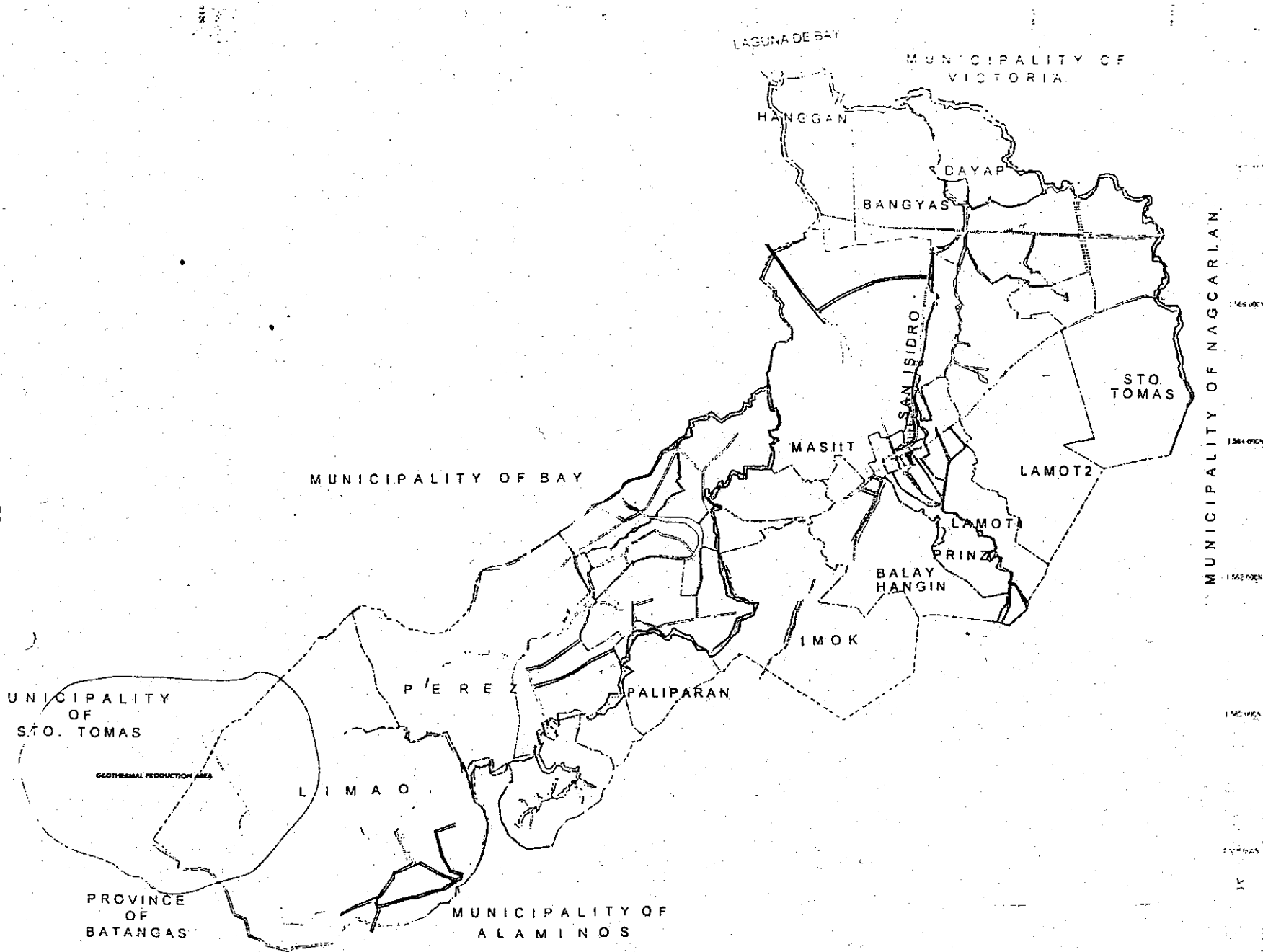
The name Calauan was derived from "Kalawang" which means rust. Interestingly it has been claimed that Calauan waters are "rusty".¹

The fertile soil of Calauan attracted the attention of Captain Juan de Salcedo, when he passed through Laguna and Tayabas (now Quezon) on his way to Bicol Region in 1570. Ten years later, Spanish authorities established a town government two kilometers from the site of the present Poblacion, in what is now Barrio Mabacan. They called the townsite "Calauan" (Tagalog for rust). Following an epidemic in 1703, the town was moved to its present site at the fork of three roads—now to the southwest leading to San Pablo City, the other southwestward to Sta. Cruz, the provincial capital, and the third going North to Manila.

It is said that a rich woman of Calauan paid for the construction of a concrete church in 1787, and the archbishop in Manila installed San Isidro Labrador and San Roque, whose feast day fell on May 15, as Patron Saint of the town. At the turn of 18th century, when Bay was designated as the provincial capital of Laguna, Calauan became a sitio of Bay. Merchants going to southern Luzon usually passed through Bay and Calauan. The landholdings of Inigo and, later, of his heirs were so vast that many portions are still unsettled. The property was and still is, known as Hacienda Calauan. About a century later, the people of Calauan fought the "guardia civil" during the Philippine-American hostilities; Calauan patriots fought numerically superior forces of General Otis in Barrio San Diego of San Pablo. With the establishment of civilian authority in Calauan in 1902, the Americans installed Mariano Marfori, Jr. son of the first municipal president served as hospital director and resident physician. (The hospital, unfortunately, was destroyed in World War II and has been rebuilt).

In 1939, at the request of President Quezon, Dona Margarita Roxas vda. de Soriano, granddaughter of the Spaniard Inigo, subdivided Hacienda Calauan and sold it to the tenants. Part of what remained was converted into a rest house and swimming pool...until 1956 it was a tourist attraction.

¹Calauan is an agricultural town with seventeen (17) barangays covering approximately 7458.6629 hectares of land. It is located at the central part of Laguna. The town got its name from the term "Kalawang" which means rust. It was claimed that for centuries lumps of rust surfaced and drifted gently on a body of water now called Macalawang Spring. This spring is situated nearly three kilometers from the town proper. Another interesting premise upon which the name Calauan chosen consists of a little story. During the early part of Spanish sovereignty over the Philippines, there was a village located west of the town where an old man found a cross made of stone. Since Christianity was then being introduced in the town, the people felt that they should signify such found beautifully. They held mass at the spot where the stone cross was found. To the surprise of all, during the elevation of the mass, water sprang out from the very place the stone was found. The water was yellowish and "rusty". To commemorate this mysterious happening, the people built a church on the site. They saw to it that the altar was constructed right on the spot where the water sprung out. The village had grown large and honor San Isidro Labrador and San Roque as their patron saints. May 15 and 16 respectively have been their celebration dates.



ROAD MAP
 MUNICIPALITY
 OF
CALAUAN
 PROVINCE OF LAGUNA
 REGION IV

- LEGEND :**
- Major Roads
 - Minor Roads
 - ~ Rivers & Creeks
 - Railroad
 - Bridge

MUNICIPALITY OF NAGCARLAN

PROVINCE
 OF
 BATANGAS

MUNICIPALITY OF
 ALAMINOS

6. Geographical Data

Calauan lies at the central part of Laguna, one of the _____ provinces of Region IV. It is bounded on the north by Laguna de Bay, on the south by San Pablo City, on the east by Nagcarlan, and on the west by the Municipality of Bay. It is 75 kilometers from Manila, 21 kms. from Sta. Cruz and 5 kms. from its neighboring town, Bay. It is conveniently reachable by land transportation.

CLIMATE

Calauan has no distinct dry or wet season. It belongs to Type 1 climate. What influences the climatic conditions of the town is the presence of mountainous peripheral areas. The months of June and July are considered warmest while the months of November, January and early February are the coldest.

SOIL PROFILE
Table No. 1
Soil Description

BARANGAY	Soil Mapping	Soil Mapping
	Unit Symbol	Unit Descriptions
1 Balayhangin	A+B	Alipit Clay (2-5% slope)
	A+D1	Alipit Clay (8-15% slope)
	SfA	San Francisco Clay
	E+G2	Eutropepts-Tropudolfs Association (45-65% slope)
	A+E1	Alipit Clay (15-25% slope)
2 Bangyas	ByA	Bay Clay
3 Dayap	D1A	Dita Clay
4 Hanggan	ByA	Bay Clay
5 Imok	Lo1E1	Lupa Clay (15-25% slope)
6 Lamot 1	A+B	Alipit Clay (2-5% slope)
7 Lamot 2	A+E1	Alipit Clay (15-25% slope)
8 Limao	A+E1	Alipit Clay (15-25% slope)
	A+D1	Alipit Clay (8-15% slope)
	A+B	Alipit Clay (2-5% slope)
9 Mabacan	SfA	San Francisco Clay
	A+B	Alipit Clay (2-5% slope)
	BgA	Bulubog Clay
10 Masilit	ByA/SfA	San Francisco Clay/Bay
11 Paliparan	A+E1	Alipit Clay (15-25% slope)
12 Perez	A+B	Alipit Clay (2-5% slope)
	A+E1	Alipit Clay (15-25% slope)
	Ep+	Escarpment
	SfA	San Francisco Clay
13 Kanluran	SfA	San Francisco Clay
14 Silangan	SfA	San Francisco Clay
15 Prinza	SfA	San Francisco Clay
16 San Isidro	SfA/ByA	San Francisco Clay/Dita Clay
17 Sto. Tomas	E+G2	Eutropepts-Tropudolfs Association (45-65% slope)

Source: Soil Survey and Classification of Laguna Province, 1987. Bureau of Soils and Water Management, Department of Agriculture, Manila.

Bay Clay (0.0 to 2.0 slope)

- Highly suitable for paddy/irrigated rice for both dry and wet season
- Highly suitable for upland crops/diversified crops on wet season
- Moderately suitable on the dry season
- Moderately suitable for root crops, camote, gabi, peanut, etc.
- Moderately suitable for pasture and tree crops
- Moderately suitable for forest trees/Industrial plantation

Dita Clay

- Highly suitable for rice for both wet and dry season
- Highly suitable for upland crops/diversified crops on wet season
- Moderately suitable for upland crops/diversified crops on dry season
- Moderately suitable for root crops, etc.
- Moderately suitable for pasture, etc.
- Marginally suitable for forest trees, etc.

San Francisco Clay

- Highly suitable for paddy for both wet and dry season
- Highly suitable for upland on wet season
- Moderately suitable for upland on dry season
- Moderately suitable for root crops
- Highly suitable for pasture
- Moderately suitable for forest trees

Bulubog Clay

- Highly suitable for paddy for both wet and dry season
- Highly suitable for upland wet season
- Moderately suitable for upland on dry
- Moderately suitable for root crops
- Moderately suitable for pasture
- Moderately suitable for forest trees

Alipit Clay**Alipit Clay (2.0 to 5.0% slopes)**

- Moderately suitable for rice for both wet and dry season
- Highly suitable for upland on wet
- Moderately suitable for upland on dry season
- Moderately suitable for root crops
- Highly suitable for pasture
- Highly suitable for forest trees

Alipit Clay (8.0 to 15.0% slopes)

- Not suitable for paddy for both wet and dry season
- Not suitable for upland
- Marginally suitable for root crops
- Moderately suitable for pasture
- Moderately suitable for forest trees

Alipit Clay (15.0 to 25.0% slopes)

- Not suitable for paddy and upland for both wet and dry season
- Marginally suitable for root crops
- Not suitable for pasture
- Marginally suitable for forest

Lupa Series**Eutropepts - Trupoldalfs Association****Ep+**

GEOLOGY

There are five types of geologic rocks present in Calauan. Aluminum, an unconsolidated mixture of sand, gravel and clay is found in Barangays Hanggan and Bangyas and part of Barangay Masiit; clastic rocks, composed principally of tuffaceous sedimentary detritus that includes water land and reworked sandy tuffs, is found in Barangays Dayap, Sto. Tomas, parts of Lamot 1 and 2; tuff, a predominantly fine to coarse-grained tuff with occasional intercalated tuffaceous clastic rock is found in the biggest part of the Municipality including the Poblacion, part of Barangays Masiit, San Isidro, Mabacan, Balayhangin, Prinza, Paliparan, small parts of Limao and Perez; volcanic rocks are found in the wide areas of Barangays Lamot 1 and 2. The fifth type, the pyroclastic rocks are found in the wide portions of Barangays Limao and Perez and in small portions of Barangays Prinza and Balayhangin.

DRAINAGE AND CATCHMENT AREAS

Rivers and their tributaries form the natural drainage of the given area. In Calauan, there are two (2) major rivers, the Mabacan and Prinza Rivers. Mabacan passes through Barangays Balayhangin, Paliparan, Perez and Limao while Prinza traverses Barangays San Isidro and Lamot. Smaller rivers Matandan River and Bay River, drain into Mabacan River while tributaries Balugulod, Cocolon, and Dayap Rivers drain into Prinza River. Prinza River carries its water loads to Lake Molucan in San Pablo City while Mabacan River goes to Alaminos, Laguna.

WATER CHARACTERISTICS

Barangays Bangyas and Hanggan have ground water suited for free flowing wells while the Poblacion, Barangays Lamot 1 and 2, on the other hand, have ground water rated poor and the rest of the barangays have ground water rated fair.

EXISTING LAND USE

The existing land uses of Calauan are shown in Table No. 3 with the agricultural area having the largest share of 79.11%, built-up areas with 6.06%, forestall areas with 4.83%; and a special uses with 10%. Special use areas include the resort site (6.2%), NPC site (8.19%), industrial areas (0.19%), quarry (0.50%); and agri-business areas (0.50%).

Table No. 2
EXISTING GENERAL LAND USES
Calauan, Laguna

LAND USE	AREA (In Hectares)	Percentage to Total (%)
Built-Up	451.7514	6.06
Agricultural	5900.6077	79.11
Forest	360.00	4.83
Special Uses	746.3038	10.00
Resort Site	(45.9590)	(0.620)
NPC Site	(610.8920)	(8.19)
Industrial	(13.8750)	(0.19)
Quarry	(37.7914)	(0.50)
Agri-Business	(37.7864)	(0.50)
TOTAL	7,458.6629	100%

Source: Office of the Municipal Assessor/Office of the Sangguniang Bayan/
Office of the Municipal Planning & Development Coordinator

LAND AREA

The total land area of Calauan is 7,458.6629 hectares, of which 23.738 hectares comprise the Poblacion area. Breakdown of area by barangay is shown in Table No. 4

Table No. 3
AREA BY BARANGAY
Calauan, Laguna

	BARANGAY	AREA (In Hectares)	Percentage to Total (%)
I. URBAN	1. Kanluran	11.6793	0.15%
	2. Silangan	12.0591	0.16%
	Sub-Total	23.7384	0.31%
II. RURAL	1. Balayhangin	344.5276	4.62%
	2. Bangyas	267.2746	3.58%
	3. Dayap	557.6651	7.48%
	4. Hanggan	211.8488	2.84%
	5. Imok	512.1781	6.87%
	6. Lamot 1	293.5793	3.94%

7. Lamot 2	615,2020	8.25%
8. Limao	1481,9364	19.87%
9. Mabacan	551,1412	7.39%
10. Masiit	696,1097	9.33%
11. Paliparan	356,9956	4.79%
12. Perez	1,003.88	13.45%
13. Prinza	113,2197	1.52%
14. San Isidro	20,6758	0.28%
15. Sto. Tomas	408,6865	5.48%
Sub-Total	7,434.92	99.69%
TOTAL	7,458.66	100%

Source: Office of the MPDC

7. Vital Indicators

POLITICAL DISTRICTS

The town has seventeen (17) barangays consisting of two (2) urban barangays (Silangan and Kanluran) and fifteen (15) rural barangays (Balayhangin, Bangyas, Dayap, Hanggan, Imok, Lamot I, Lamot II, Limao, Mabacan, Masiit, Paliparan, Perez, Prinza, San Isidro, and Sto. Tomas).

POPULATION SIZE

Based on Census 2000 conducted by the National Statistics Office (NSO), the population of the town as of May 2000 is 43,284 with an annual growth rate of 3.61%. The number of households is 8,818 with an average household size of 4.80. In the year 2003, the projected population of the municipality is 48,143 and the projected number of households is 9,808.

POPULATION DENSITY

Based on Census 2000 of the NSO, the municipality has a population density of 651 per square kilometer.

Table No. 4
BARANGAY POPULATION

BARANGAY	POPULATION		HOUSEHOLD	
	2000	2003*	2000	2003*
1. Balayhangin	4751	5286	1003	1077
2. Bangyas	2156	2398	454	488
3. Dayap	4363	4853	896	989
4. Hanggan	1225	1362	249	278
5. Imok	1136	1261	242	257
6. Lamot I	1881	2094	386	427
7. Lamot 2	5267	5854	902	1193
8. Limao	2844	3163	591	644
9. Mabacan	2796	3110	590	634
10. Masiit	3892	4328	841	882
11. Paliparan	630	703	125	143
12. Perez	2081	2316	417	472
13. Kanluran-Pob.	1978	2200	411	448
14. Silangan-Pob.	1900	2113	403	431
15. Prinza	2491	2773	506	565
16. San Isidro	1797	1998	379	407
17. Sto. Tomas	2096	2330	423	475
TOTAL	43284	48143	8818	9808

Source: NSO

*Projected

Local Development

8. Development Programs

a. On-going Projects

- Donation of Hospital Equipments needed for the newly constructed Lying-in.
- Expansion of Water Supply System thru LWD Los Baños Branch
- Construction of street gutter and Drainage system

- Request for improvement of the classrooms and schools buildings from National and Provincial Agencies
- The improvement of Municipal Buildings
- Construction of three (3) Boundary Marks of Calauan, Laguna to be located at Bay, Dayap and Imok.
- Construction of lined canals at Barangays Dayap, Mabacan and Sto. Tomas
- Concreting of Perez to Limao farm to market road

b. Completed Projects

- Construction of Perez – Limao Farm to Market Road
- Construction of Tamlong Farm to Market Road (Brgy. Limao)
- Concreting of Barangay Road at Sitio Tamlong (Brgy. Limao)
- Concreting of Barangay Road (Brgy. Lamot II)
- Concreting of Barangay Road at Marfori Subd. (Brgy. Silangan)
- Concreting of Pathway at Purok III (Hanggan)
- Rehabilitation of Limdico St. (Brgy. Balayhangln)
- Partial Construction of Brgy. Hall (Brgy. Imok)
- Partial Construction of Brgy. Hall (Brgy. Bangyas)
- Completion of Brgy. Hall (Brgy. Mabacan)
- Water Supply Phase II
- Barangay Imok Water Supply Phases I and II
- Town Plaza Beautification

c. Projects for Development

- Opening and concreting of Calle Aleman farm to market road at Brgy. Prinza
- Opening and concreting of Lamot II to Lamot I farm to market road
- Concreting of Perez to Limao farm to market road
- Construction of Bridge (20 m. span) in Brgy. Limao
- Asphalt overlay of Marfori St.
- Concreting of "Kapatayan" road at Brgy. Lamot I
- Construction of lined canals at Puroks II to III of Brgy. San Isidro
- Construction of Hanging Bridge
- Construction of Public Market
- The plan of improving the Prinza Dam to construct small generating electricity mediums to supply nearby residents
- Plan and Design of Construction of three (3) Boundary Marks of Calauan, Laguna to be located at Bay, Dayap and Imok

d. SOCIAL DEVELOPMENT

1. Housing Program

Calauan is the site of one of the biggest housing projects of the National Housing Authority. The total project area of 107.2234 hectares in Barangays Dayap and Sto. Tomas is expected to generate 7250 residential lots.

The NHA – Calauan Housing Project, Site 1 located at Brgy. Dayap is ready for disposition to qualified beneficiaries of the municipality of Calauan and nearby municipalities. Packages with housing unit (Row House 24, Row House 30) and lots only (Social A – 40 sq.m., Social Lor B – 60 sq.m. and Economic Lot – 80 sq.m.) shall be disposed thru mortgage take-out with the Home Development Mutual Fund (HDMF) in accordance with the Memorandum of Agreement exacted by and among the NHA, HDMF and the municipalities of Calauan, Nagcarlan, Los Baños, Bay, Victoria and Pila, all in Laguna.

All the required documents must be submitted to NHA personnel at Brgy. Dayap.

FOR GOVERNMENT EMPLOYEES:

- For GSIS Housing Loan
 1. Completely filled out application form
 2. Latest five (5) signed passport size photo, plus that of co – maker (if applicable)
 3. Certificate of employment stating the latest monthly salary and allowances, including exemptions under LOI-14 (certificate of no pending case)
 4. Original pay slips for the current and the past two months
 5. Policy contract
 6. Birth certificate
 7. Marriage contract (if married)
 8. Proof of billing address
 9. Community Tax Certificate
 10. Two (2) long folders with fasteners

- **For HDMF/Pag-ibig Housing Loan**
 1. Sworn Application to Purchase House and Lot
 2. 1 x 1 I.D. Pictures (5 copies)
 3. Certificate of Employment and Compensation (CEC) duly notarized
Xerox copy of the following:
 4. BIR stamped Income Tax Return with W2 and BIR Form 2316
 5. Community Tax Certificate
 6. Birth Certificate (if single)
 7. Marriage Contract (if married)
 8. Proof of Billing Address (Electric, Water, Telephone, etc.)
 9. Pay slips for the last two months (borrower and spouse, certified true copy)
 10. Pag-ibig Premium Contribution Payment's Certification (for the last 24 months-original)
 11. Two (2) long folders with fasteners

- **For Self - Employed:**
 1. Sworn Application to Purchase House and Lot
 2. 1 x 1 I.D. Pictures (5 copies)
 3. BIR stamped Income Tax Return with W2 and BIR Form 2316
Xerox copy of the following:
 4. Birth Certificate (if single)
 5. Community Tax Certificate
 6. Marriage Contract (if married)
 7. DTI/Mayor's Permit (if registered)
 8. Proof of Billing Address (Electric, Water, Telephone, etc.)
 9. Proof of Pag-ibig Membership
 10. Pag-ibig Premium Contribution Payment's Certification (for the last 24 months-original)
 11. Two (2) long folders with fasteners

- 2. Education Program
 - Construction of additional Public High School
 - Promote non-formal and informal education
 - Provide adult citizens, the disabled and out-of-school youth vocational efficiency and other skills
 - Scholarships at all levels of or deserving and qualified students

- 3. Health Program
 - Family health information campaign
 - Establish and maintain a municipal hospital for indigents
 - Lying-in clinic
 - Acquisition of lot to be used as a public cemetery
 - Cleaning of creeks, brooks and rivers
 - Intensified Anti-TB Campaign
 - Phil Health Program for the Indigents
 - Child Care
 - Maternal Care
 - Anti-Dengue Program
 - Anti-Diarrhea Control Program
 - Consultation and treatment
 - Family Planning Program
 - Dental Service
 - Control of Acute Respiratory Tract Infection (ARTI)

- 4. Environmental Management
 - Rehabilitation of dumpsite (from open dumpsite to control dump to sanitary landfill)
 - Strict enforcement of environmental ordinances
 - Anti-dengue house to house spray/fogging
 - Construction of Materials Recovery Facility (MRF)
 - Acquisition of equipments (e.g. shredding machine for proper waste management)
 - Environmental Sanitation
 - Solid Waste Management Program
 - Conduct of River and Irrigation Clean-up

- 5. Protective Services
 - Fire Prevention and Suppression

- 6. Social Welfare
 - Drug Abuse Prevention, Control and Rehabilitation
 - Manpower Development
 - Emergency Assistance

- Child and Youth Welfare Program
- Women Welfare Program
- Elderly and Disabled Persons
- Family and Community Welfare Program

7. Nutrition Program

- Home and Community Food Production
- Micronutrient Supplementation and Food Fortification Program
- Nutrition Education Program
- Food Assistance
- Credit Assistance for Livelihood
- Food Fortification Program

8. Livelihood

- Livelihood assistance to Calauan Public Market Vendors Association (Calpumava) members
- Sow, heifer and kabir chicken dispersal and native chicken egg production

9. Others

- Construction of a Municipal Library
- Roadway lighting
- Asphalt overlay of Marfori St.

e. ECONOMIC DEVELOPMENT

1. Agriculture

- Mass production of sweet potato
- Assistance to small farmers through lectures on the application of modern technology
- Strengthening of cooperatives
- Provision of pre-post harvest facilities (i.e. hand tractors, rice threshers)
- Application of organic fertilizer and production on planning stage in cooperation with ICA for initial funding of \$1,000,000 for the first year
- Crop Production Development
- Cattle dispersal
- Kabir chicken dispersal
- Construction of slaughterhouse
- Opening and concreting of Calle Aleman farm to Market Road
- Concreting of Perez to Limao farm to Market Road
- Opening and concreting of Lamot II and Lamot I farm to Market Road
- Concreting of Kapantayan road at Lamot I

2. Commerce and Industry

- Maintenance of Public Market
- Initiatives in Support of Cooperative Development

3. Others

- Beautification, Cleaning and Greening

9. Agricultural Assistance

• Agriculture

- Crop Production Development
- Cattle dispersal
- Kabir chicken dispersal
- Provision of pre or post harvest facilities (eg. Hand tractor, rice thresher)
- Construction of slaughterhouse
- Opening and concreting of Calle Aleman farm to Market Road
- Concreting of Perez to Limao farm to Market Road _____ kms.
- Opening and concreting of Lamot II and Lamot I farm to Market Road
- Concreting of Kapantayan road at Lamot I

10. Environmental Programs

• Environmental Management

- Environmental Sanitation
- Solid Waste Management Program
- Conduct of River and Irrigation Canal Clean-up
- Acquisition of heavy equipments needed for Integrated Solid Waste Management

11. Service Improvements

COMMUNICATION FACILITIES/CELL SITES

- ❖ For local and long distance calls
(Domestic and International)
 1. Philippine Long Distance Telephone (PLDT) - PCO
M. Vda. de Soriano St.
Calauan, Laguna
Tel. No.: (049) 568 – 0305
 2. P1&T
L. Geirosa Ave.
Calauan, Laguna
Tel. No.: (049) 248 – 4210
- ❖ CELL SITES/PLANT SITE
 - Smart Cell Sites (2)
Barangay Silangan & Barangay Limao
Calauan, Laguna
 - Globe Cell Site
Barangay Masilit
Calauan, Laguna
 - Mobiline Cell Site
Barangay San Isidro
Calauan, Laguna
 - PLDT Plant Site
D. Samiano St., Barangay Kanluran
Calauan, Laguna
- ❖ MAIL/TELEGRAM/MONEY ORDER
 - Phil. Postal Office/BUTEL
Municipal Bldg.
Calauan, Laguna

Products

12. Marine

Marine products

Since the municipality has no coastal area, saltwater fishes and other seafoods such as shrimps and squid usually come from the provinces of Quezon and Cavite.

The freshwater fishes usually sold in the public market are tilapia and milkfish.

13. Industry

Industrial activities in the area consist of light to medium and agro – industries. These consists of ___ (1) motorworks and industries supportive of agricultural activities such as Reyson Food Processing located at Brgy. Hanggan, manufacturer of sweet preserves such as macapuno, nata and kaong; A & C Millares Poultry Processing Plant located at Brgy. Prinza. Pro – craft International located at Brgy. Dayap makes baseball gloves for export.

These are also _____ commercial scale livestock and poultry farms.

Home made sweets include merengue, macapuno and ube candies.

Furniture made from wood are available CABINEX specialize in and made-to-order modular cabinets.

News

14. Crime rate down

The Integrated National Police Force is safeguarding public Safety and Civil Defense in Calauan although the Calauan MPO is undermanned. The force is composed of one (1) PCO and nineteen (19) PNCOs with a police population ratio of 1:19. The 6000 sq.m. PNP headquarter is located in the Municipal Building Compound. In case of emergency/request in police assistance, the PNP station could be contacted at tel. no. (049) 248 – 2222.

One may also avail of the assistance from the office of the Barangay Captain or Barangay Tanod. Barangay Brigades/Tanod from seventeen (17) barangays are organized to assist/support police force in maintaining peace and order in the community.

At present, the municipality has a Fire Protection Unit manned by one (1) Fire Marshall and a staff of (6) personnel. They are temporarily holding office in a room in the Municipal Building Annex (beside the PNP station). The Fire Protection Unit has one (1) mini fire trucks and one (1) fire pump and two (2) mini fire trucks with suction pump.

For the year 2002, the Calauan MPO registered a total of one hundred four (104) crime incidents, thirty nine (39) of which represent Index crime, while sixty five (65) are non – index crime. Monthly crime rate of 20.54% and crime solution efficiency rating of 96.15%.

Ordinances

15. Existing ordinances

Among the public order & safety and environmental ordinances passed by the Sangguniang Bayan of Calauan, Laguna for the last four years are the following:

- Mun. Ordinance No. 5 – 1999
An ordinance penalizing urinating at public places.
- Mun. Ordinance No. 07 – 1999
An ordinance penalizing vandalism at public places.
- Mun. Ordinance No. 04 – 2001
Amending Ordinance # 06 – 1988, providing curfew hours within the territorial jurisdiction of Calauan, imposing penalty for violation thereof.
- Mun. Ordinance No. 01 – 2001
Imposing impounding fees upon vehicles temporarily under the custody of Calauan PNP using the Municipall Hall premises.
- Mun. Ordinance No. 05 – 2001
"Color Coding Scheme" para sa mga panghanapbuhay na tricycle na pahiralin sa bayan ng Calauan, Laguna.
- Mun. Ordinance No. 3 – 2001
Nagbabawal na pakialaman ang daluyan ng tubig (Pritil/Salaan ng tubig irigasyon, sapa, ilog, bukal) at pagbabawal ng pagtatapon ng ano mang uri ng basura sa daluyan ng tubig sa nasasakupan ng bayan ng Calauan. 111. 水路への汚棄禁止.
- Mun. Ordinance No. 2 – 2002
Prohibiting any entertainment establishment within the territorial jurisdiction of Calauan, Laguna to neither admit nor allow minors from watching or reading pornographic articles or materials coming from the said establishment.

SERVICES PAGE

Community Services

16. Health

a. health services (include basic services for health)

- Rural Health Unit staff:
 - One (1) nurse
 - One (1) Sanitary Inspector
 - One (1) ambulance driver
 - One (1) FP midwife
 - Five (5) casual midwives
 - One (1) casual Medical Technologist
- Activities on preventive and rehabilitative aspects of health care
 - Immunization
 - Outpatient consultation
 - Medical dispensation
 - Family planning
 - Maternal and child health care
 - Public health, education and environmental sanitation

b. health centers/workers

There are fourteen (14) Barangay Health Centers with sixty-three (63) Barangay Health Workers (BHW).

c. health projects

- Health Program
 - Family health information campaign
 - Establish and maintain a municipal hospital for indigents
 - Lying-in clinic
 - Acquisition of lot to be used as a public cemetery
 - Cleaning of creeks, brooks and rivers
 - Intensified Anti-TB Campaign
 - Phil Health Program for the indigents
 - Child Care
 - Maternal Care
 - Anti-Dengue Program
 - Anti-Diarrhea Control Program
 - Consultation and treatment
 - Family Planning Program
 - Dental Service
 - Control of Acute Respiratory Tract Infection (ARTI)

17. Social Welfare

a. social services

- Social Welfare
 - Drug Abuse Prevention, Control and Rehabilitation
 - Manpower Development
 - Emergency Assistance
 - Child and Youth Welfare Program
 - Women Welfare Program
 - Elderly and Disabled Persons
 - Family and Community Welfare Program

b. social welfare centers/workers

Municipal Social Welfare Office

Municipal Hall

Calauan, Laguna

Tel. No.: (049) 568 - 0018

There are twenty (20) Barangay Day Care Centers with twenty (20) Barangay Day Care Workers.

c. social welfare projects

- Social Welfare
 - Drug Abuse Prevention, Control and Rehabilitation
 - Manpower Development

- Emergency Assistance
- Child and Youth Welfare Program
- Women Welfare Program
- Elderly and Disabled Persons
- Family and Community Welfare Program

18. Peace and Order

a. Police assistance

- POLICE Station
Municipal Hall
Barangay Silangan
Calauan, Laguna
Tel. No.: (049) 248 – 2222

ON - GOING PROGRAMS AND ACTIVITIES OF THE CALAUAN POLICE STATION FOR THE CY 2003

- Intensify Police Visibility to preempt any lawless elements from doing their evil bloods.
- Information drive through Barangay visitation and *pulong – pulong* to increase the level of awareness among local officials and residents on the campaign of the government on peace and order.
- Establishment of Crime Watch to monitor, gather and confirm information on the Organized Crime Group and lawless personalities in the AOR.
- Revitalization of foot and mobile patrol in crime prone areas of Barangay and to inculcate the menace of illegal drugs.
- Campaign against anti – terrorism and creation of sectoral organization to support local officials against terrorist act.
- Creation of one team that will be responsible for monitoring of any nefarious activities in the AOR.
- Conduct of information drive to intensify the campaign and educate people of Calauan on how to deal with terrorist act.
- Identification and neutralization of Organized Crime Group specifically Illegal Drugs and Illegal Gambling and others.
- Intensification on the arrest of wanted persons and implementation of Oplan Bakal to reduce loose firearms and explosive in the AOR.
- Improvement of Investigation and Evidence gathering techniques to successfully prosecute filed cases specially on RA 9165 (Dangerous drug Act of 2002).
- Request for additional police personnel to augment the current strength of this office.
- Conduct of Barangay Visitation and dialogue/*pulong – pulong* twice a week to win the heart and mind of Barangay Officials and residents of seventeen (17) barangays in the AOR.
- Reactivation of Municipal and Barangay Anti-Drug Abuse Council to suppress the proliferation of illegal drug pushers and users.
- Strengthening of Protection for Rehabilitation of Children to protect the youth from harm caused by illegal drugs, illegal gambling and others.
- Strict implementation of all municipal ordinances especially on traffic rules and regulations.
- Intensification of information gathering on enemies' plans and movements in the AOR particularly in barangays where there were reports of sightings of enemies.
- Requisition of new mobile patrol car and handheld radios to improve the service of the Calauan PNP to the people of Calauan.

For details and information Assistance:

1. Mayor's Office
Municipal Hall
Barangay Silangan
Calauan, Laguna
Contact Person:
Tel. No.: (049) 568 – 0012
Telefax No.: (049) 568 – 0011
2. SB Committee on Tourism
Sangguniang Bayan Office
Municipal Hall
Barangay Silangan
Calauan, Laguna
Contact Person:
Tel. No.: (049) 568 – 0015

<u>3. BARANGAY</u>	<u>BRGY. CAPTAIN</u>	<u>CONTACT NO.</u>
• BALAYHANGIN	Hon. Oscar E. Balbido	(049) 248 – 3523
• BANGYAS	Hon. Gorgonia D. Toralba	
• DAYAP	Hon. Iroberto A. Ramilo	(049) 248 – 2069
• HANGGAN	Hon. Melencio N. Dulay	
• IMOK	Hon. Ramon A. Velasco	(049) 248 – 2860
• LAMOT I	Hon. Gregorio N. Ocampo	(049) 248 – 3362
• LAMOT II	Hon. Jaime P. Goyena, Jr.	(049) 248 – 3000
• LIMAO	Hon. Armando Punzalan	
• MABACAN	Hon. Josellito M. Manalo	(049) 248 – 2138
• MASIT	Hon. Edilberto A. Alcantara	(049) 248 – 3376
• PALIPARAN	Hon. Efren A. Leus	
• PEREZ	Hon. Dante D. Tolentino	
• KANLURAN	Hon. Joseph P. Larona	(049) 248 – 2870
• SILANGAN	Hon. Ruben dela Peña	(049) 248 – 2922
• PRINZA	Hon. Nestor P. Alzona	(049) 248 – 3582
• SAN ISIDRO	Hon. Marino S. Escarez	(049) 248 – 2048
• STO. TOMAS	Hon. Apolinario M. Catapang	

19. Infrastructure

a. infrastructure services

- Roads

b. on – going projects

- Concreting of Perez to Limao farm to market roads.
- Construction of lined canal: Brgy. Sto. Tomas; Purok Silangan, Brgy. Dayap and Sitio Curba, Brgy. Mabacan
- Fencing of cemetery and other improvements

c. finished projects

- Construction of Perez to Limao Farm to Market Road (___ meters)
- Construction of Tamlong Farm to Market Road (Brgy. Limao)
- Concreting of Barangay Road (Brgy. Limao)
- Concreting of Barangay Road (Brgy. Lamot 2)
- Concreting of Limdico St. (Brgy. Balayhangin)
- Concreting of Barangay Road (Brgy. Silangan)
- Concreting of pathway at Hanggan

20. Education

a. Primary Schools

<u>Name</u>	<u>Address</u>
• Brgy. Balayhangin Elementary School	Brgy. Balayhangin
• Brgy. Bangyas Elementary School	Brgy. Bangyas
• Brgy. Dayap Elementary School	Brgy. Dayap
• Antonio Chipeco Memorial Elementary School (ACMES)	Brgy. Hanggan
• Brgy. Imok Elementary School	Brgy. Imok
• Brgy. Lamot Elementary School	Brgy. Lamot
• Brgy. Limao Elementary School	Brgy. Limao
• Brgy. Mabacan Elementary School	Brgy. Mabacan
• Brgy. Masit Elementary School	Brgy. Masit
• Brgy. Paliparan Elementary School	Brgy. Paliparan
• Brgy. Perez Elementary School	Brgy. Perez
• Calauan Central School	Brgy. Kanluran
• Brgy. Prinza Elementary School	Brgy. Prinza
• Brgy. San Isidro Elementary School	Brgy. San Isidro
• Brgy. Sto. Tomas Elementary School	Brgy. Sto. Tomas
• Teodoro C. Dator Elementary School	Brgy. Dayap
• St. Therese School	Brgy. Dayap
• Brightland School	Brgy. Masit
• Refiner's School	Brgy. Kanluran